令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
健康福祉部健康推進課	３つのけんしん（健康診査・がん検診・歯科健診）の充実、受診率の向上事業

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	歳を重ねるほど松江は楽しい
	主要施策	3つのけんしん（健康診査、がん検診、歯科健診）の充実、受診率の向上

事業の目的と目標

目的（何のために）

「松江市総合計画」に掲げる将来像「歳を重ねるほど松江は楽しい」をめざし、みんなで支えあって健康寿命をのばす。

目標（何を達成するのか）

健康診査やがん検診、歯科健診をすすんで受け、自分の健康管理に努める市民を増やす

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
国保特定健診受診率（%）	41.9	57	60	60
40～69歳がん検診総受診者数（人）	21,736	24,000	34,900	34,900
かかりつけ歯科医を持つ市民の割合（%）			60.6	60.6

事業概要

市民が健康管理を行うための手段である各種けんしんを引き続き実施します。
各種けんしん受診体制の充実を図るとともに、けんしん受診啓発を行い、受診者数を増やします。
（数値目標の目標年度）
・国保特定健診受診率：R11（2029年度）特定健康診査等基本方針（国）に基づく
・40～65歳がん検診総受診者数：R5（2023年度）　第２次健康まつえ21基本計画より
・かかりつけ歯科医を持つ（かかりつけ歯科医で年1回以上歯科健診を受けている）市民の割合：R5（2023年度）第２次健康まつえ21基本計画より　※R4年度に調査予定（H29年度　49.8%）

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
・コロナ禍でも安心して受診できる体制整備 健康診査実施期間の延長 がん検診受診会場の分散化 休日集団検診の実施 ・受診勧奨、啓発 受診券の送付、「けんしんのお知らせ」全戸配布、ホームページ、市報、マーブル、ラジオ、健康メール	・コロナ禍でも安心して受診できる体制整備 未受診理由の分析（健康調査） 健康診査実施期間の延長 効率的な会場設定 休日集団検診の実施 ・受診勧奨、啓発 受診券の送付、「けんしんのお知らせ」全戸配布、ホームページ、市報、マーブル、ラジオ、健康メール等、関係機関と連携した受診勧奨	・受診しやすい体制整備 （未受診者理由の分析に基づき） ・受診行動に結びつく受診勧奨、啓発の工夫

達成度

3　計画目標に向けて進捗はやや遅れている

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		496,968	573,644
財源内訳	国・県支出金	126,407	145,910
	地方債		0
	その他	183,760	212,112
	一般財源	186,801	215,622
歳入合計		496,968	573,644

課題

・年齢が低いほどけんしん受診率が低い傾向にある。
・コロナ禍によるけんしん受診控え等の影響から受診者数が減少傾向にある。

方向性

・受診率向上に向けた取り組みを継続する。今年度は市民アンケートにより未受診理由を具体的に把握することで、より効果的な対策を検討する。
・感染予防対策を十分に講じていること、コロナ禍においてもけんしんは必要であることを周知、啓発する。

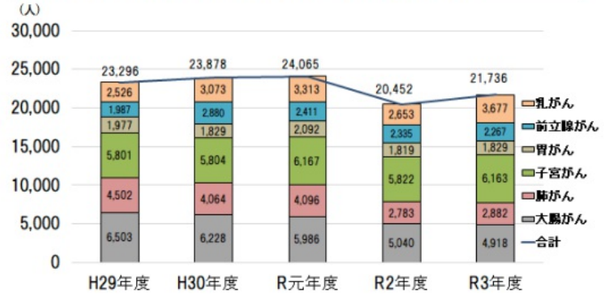
R4スケジュール

時期	実施内容	時期	実施内容
5月	受診券発送	10月～12月	健康まつえ21市民アンケート実施
5月末	けんしんのお知らせ全戸配布	1～3月	アンケート分析（未受診理由）、対策の検討
6月～3月	各種けんしん実施・受診啓発		
10月～2月	各種けんしん検討会議		

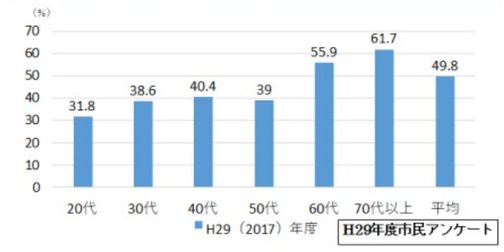
本事業に関する主要データ

松江市国保特定健診受診率の推移

松江市がん検診受診者数推移（40～69歳）



かかりつけ歯科医を持つ市民の割合



共創の状況	その他（協力、連携など）

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
01 報酬	9,687	12委託料	525,404
03 職員手当等	1,981	13使用料及び賃借料	537
04共済費	1,930	18負担金補助及び交付金	4,225
07報償費	706		
08旅費	680		
10需用費	12,232		
11役務費	16,262		
事業費計			573,644

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
健康福祉部健康推進課	健康まつえ21計画推進事業費

松江市総合計画		
	基本目標	どだいづくり
	基本施策	歳を重ねるほど松江は楽しい
	主要施策	全世代の健康づくり（食習慣づくり、運動習慣づくり、休養・心の健康づくり、たばこ対策）の推進

事業の目的と目標

目的（何のために）

「松江市総合計画」に掲げる将来像「歳を重ねるほど松江は楽しい」をめざし、みんなで支え合って健康寿命を延ばす。

目標（何を達成するのか）

市民・行政・関係機関が連携して基本計画を推進することで、健康づくりに対する市民一人一人の行動の変容を促し、右記の目標を達成する。

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
受診率(国保特定健診)(%)	41.9	57	60	60
健康づくりに取り組む市民の割合(%)	41.6	65	65	70

事業概要

健康まつえ21基本計画は、健康増進法（平成14年法律第103号）第8条第2項に基づく「市町村健康増進計画」と食育基本法（平成17年法律第63号）第18条に基づく「市町村食育推進計画」を一体的に策定し、「松江市総合計画」及び「松江市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を上位計画として位置づけ、本市の全世代の健康づくりの実行計画として各種事業を実施する。

令和5年度まで第2次基本計画の期間中であり、令和5年度中に第3次基本計画を策定する。

計画期間・・・第2次：平成25年度から令和5年度までの11年間（※）
第3次：国が示す基本方針を勘案し決定

（※）国が定める『国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針』の期間が1年間延長されたことに合わせ、期間の終期を1年間延長

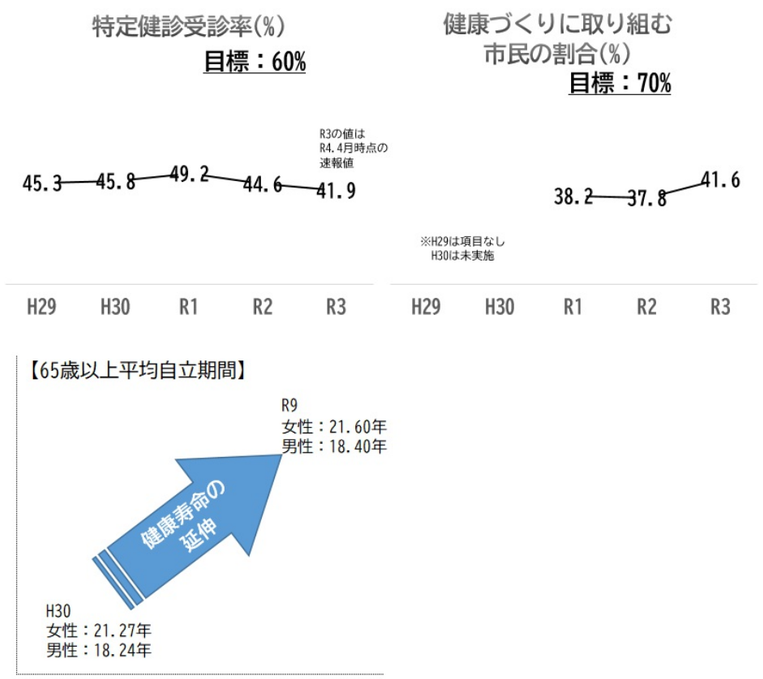
事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
①各種事業の推進	①各種事業の推進 ②第3次基本計画策定準備 ・健康に関するアンケート実施 ・関係課へ実績値照会 ・計画のフレーム作成 ・次年度予算計上（委員報酬、印刷製本、通信運搬　等）	①各種事業の推進 ②第3次基本計画策定 ・策定委員会設置、開催（4回） ・関係課意見照会 ・パブリックコメント実施

達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	夏	国基本方針提示		
	7月～	アンケート実施準備（入札準備、委託業者、内容決定等）		
	10月～12月	アンケート実施、次年度予算		
	1月～3月	アンケート集計、策定委員人選、計画のフレーム作成		

本事業に関する主要データ



歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		0	2,314
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	2,314
歳入合計		0	2,314

共創の状況	その他（協力、連携など）

課題

・令和4年夏頃に、健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針(基本方針)が国から示される。
・全世代の健康づくりの推進のためには、全庁的な連携が必要である。

方向性

・国が示した基本方針を勘案し、次期計画の策定に向けた準備を進める。
・関係課への実績値等の照会を通じ、第3次計画策定への準備段階から関係課との連携を図る。
・アンケート結果や各種実績値、目標の達成状況等を分析し、第3次基本計画のフレームを作成する。

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
委託料	2,314		
事業費計			2,314

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
健康福祉部健康推進課	自然に健康になれるまち推進事業費

松江市総合計画		
	基本目標	どだいづくり
	基本施策	歳を重ねるほど松江は楽しい
	主要施策	自然に健康になれるまち推進事業

事業の目的と目標

目的（何のために）

多くの市民が日常生活の中で気軽に継続して取り組める健康づくりのための環境をつくる。

目標（何を達成するのか）

幼児期から体操に触れることで運動習慣のきっかけづくりとし、健康づくりに取り組む市民を増やす。

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
健康づくりに取り組んでいる市民（%）	41.6	65	65	70

事業概要

・日常生活の中で気軽に取り組める「松江市の歌」体操を作成する。
・体操の動画を作成し、保育所、幼稚園、小学校等での普及を図る。
（数値目標の目標年度）
健康づくり（運動・スポーツ）に取り組んでいる市民の割合（%）：2029（R11）年度
※「まちづくりのための市民アンケート」より

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
（R4新規事業）	・体操作成（委託） ・体操の動画作成 ・動画を松江市の健康公式チャンネルで配信 ・お披露目イベント ※秋以降を予定 ・ＤＶＤ等の作成、配布 ・体操の普及	・体操の普及

達成度

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～7月	体操作成（委託）		
	9月～12月	動画作成		
	10月～3月	お披露目イベント・動画配信		
	10月～3月	体操の普及		

本事業に関する主要データ

出典：国保データベース（KDB）システム

運動習慣のない人の割合

→ 運動習慣のない人の割合が男性・女性ともに全国と比較して高くなっています。

令和2年度

項　目	男性（%）		女性（%）	
	松江市	全国	松江市	全国
1回30分以上の運動習慣なし	59.3	56.2	68.6	61.5
1日1時間以上の運動なし	55.0	48.0	56.9	48.3

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費			3,200
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	3,200
歳入合計		0	3,200

共創の状況	委託

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
委託料	3,200		
事業費計		3,200	

課題

健康寿命の延伸のためには、生活習慣病の予防が重要である。
・運動習慣のない人の割合が、男女ともに全国平均よりも高い。
・生活習慣の改善意欲は高いが、行動を始めている人は少ない。

方向性

市民が楽しみながら健康づくり（運動・スポーツ）に取り組める環境づくりを推進する。

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
健康福祉部介護保険課	一般介護予防事業

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	歳を重ねるほど松江は楽しい
	主要施策	一般介護予防事業

事業の目的と目標

目的（何のために）

運動・認知機能の低下や社会参加の機会の減少等によって虚弱になることを防ぎ、要介護状態にならないよう、介護予防活動に取り組む。

目標（何を達成するのか）

健康づくりと介護予防の取り組みを推進し、健康寿命の延伸を図る。

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
からだ元気塾の参加者数（人）	807	900	1,100	
なごやか寄り合い参加者数（人）	4,666	5,000	10,000	

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	通年	からだ元気塾（各地域で開催）	通年	おうち元気塾　年間を通じてマーブルで放送
	通年	なごやか寄り合い（各地域で開催）	4月～6月	KDBシステムを活用した分析、課題抽出
	通年	歯つらつ健口教室（各医療機関で開催）	5月～8月	広報用番組・動画作成（放映 9月～）
	通年	リハビリテーション専門職派遣事業	9月～3月	介護予防事業評価

事業概要

①からだ元気塾
　運動器・認知機能向上のため、市内35会場で週１回開催する運動教室。
②なごやか寄り合い
　各地区の公民館や集会所で健康講座やレクレーション等を開催する高齢者の通いの場。

＜その他取り組み＞
・歯つらつ健口教室
　オーラルフレイルを予防するため、口腔機能の維持・向上するための教室。市内歯科医院で全2回受講。
・リハビリテーション専門職派遣
　通いの場や介護施設に専門職を派遣。専門職による介護予防に関する評価・指導・助言を通じて、地域における介護予防の取組強化を図る。

本事業に関する主要データ

①からだ元気塾

・開催実績

年度	参加者		実施場所数	実施回数
	実人員	延人員		
H29	727	19,173	35	1,615
H30	772	20,339	37	1,711
R1	845	21,621	37	1,622
R2	705	13,147	36	1,211
R3	785	21,661	36	1,876

②なごやか寄り合い事業

・開催実績

年度	参加者			実働箇所数	開催回数
	実人数	男	女		
H29	8,956	2,774	6,182	373	3,177
H30	9,339	2,950	6,389	373	3,189
R1	9,066	2,770	6,296	372	2,943
R2	4,621	1,328	3,293	257	1,429
R3	4,666	1,300	3,366	254	1,734

・参加者の傾向（性別・年代）

性別／年代	R1	R2	R3
女性	**90.9%**	**92.5%**	**90.5%**
60代	2.5%	2.3%	2.2%
70代	32.8%	34.2%	35.8%
80代	50.7%	50.6%	48.7%
90代	4.9%	5.5%	3.9%
男性	**9.1%**	**7.5%**	**9.5%**
60代	0.6%	0.3%	0.9%
70代	2.4%	2.3%	2.7%
80代	5.3%	4.4%	5.0%
90代	0.8%	0.6%	0.9%

・参加者の傾向（性別）

性別	R1	R2	R3
女性	**69.4%**	**71.3%**	**72.1%**
男性	**30.6%**	**28.7%**	**27.9%**

事業計画

R3実績見込

〇からだ元気塾
・参加者数 807人（男性 79人、女性 728人）
〇なごやか寄り合い事業
・参加者数 4,666人 （男性 1,300人、女性 3,366人）
・専門職派遣、事業対象者の抽出・啓発
〇参加勧奨・普及啓発
・65、70、75歳到達者や後期高齢者への啓発資料送付

R4計画

〇からだ元気塾
・個別周知（認定非該当、要支援）
・介護予防番組の内容更新
〇なごやか寄り合い事業
・事業評価、新規会場立ち上げのための候補地域選定
・専門職派遣、事業対象者の抽出・啓発
〇参加勧奨・普及啓発
・65、75歳到達者や後期高齢者への介護予防事業の普及啓発
・各種データ分析による課題抽出・事業検討

R5計画

〇なごやか寄り合い事業
・新規会場立ち上げ
〇参加勧奨・普及啓発
・節目年齢や後期高齢者への介護予防事業の普及啓発
〇その他
・日常生活圏域ニーズ調査結果の分析（ニーズ、対象者把握）

達成度

1	計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		35,650,220	41,115,350
財源内訳	国・県支出金	16,231,343	19,294,477
	地方債	5,410,447	6,431,492
	その他	6,464,430	7,684,381
	一般財源	7,544,000	7,705,000
歳入合計		35,650,220	41,115,350

共創の状況	委託

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
０９その他保険料	493,790		
１３委託料	40,621,560		
事業費計			41,115,350

課題

・両事業共通して女性の参加割合が高い。（からだ元気塾の男性参加者は1割未満）
・前期高齢者は男女ともに参加率が低い。
・新型コロナ感染症の影響により、参加を控える人や開催を中止する団体がある。（R2は4割、R3は3割が中止）
・からだ元気塾は高齢者数の増加に対し、新規参加人数が伸びていない。
・なごやか寄り合い事業は、地域によって参加率・実施箇所数共に差がある。

方向性

・前期高齢者に係る関係機関や関係者に対する事業周知を行い、関係者を通じて案内することできっかけ作りを図る。
・からだ元気塾は参加者増に向け周知強化（メディア活用、個別通知等）を図り、事業効果や認知度向上につなげる。
・なごやか寄り合い事業は、参加率や実施箇所数が少ない地域に再開の働きかけ（支援）を行うなど、通いの場の拠点を増やす。

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
環境エネルギー部環境エネルギー課	地球温暖化対策事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	日本が誇る「環境主都まつえ」
	主要施策	地球温暖化対策事業

事業の目的と目標

目的（何のために）

地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）及びエネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）に基づき、各種施策の取り組みを推進する。

目標（何を達成するのか）

2050年までに温室効果ガス（二酸化炭素）の排出を実質ゼロにする。（カーボンニュートラルの実現）

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値

事業概要

〇地球温暖化対策にかかる啓発事業の実施。
〇省エネ法により選任が義務付けられているエネルギー管理企画推進者のための講習受講。
〇温対法により策定が義務付けられている地方公共団体実行計画である「松江市地球温暖化対策実行計画」を、同法の改正（令和4年4月施行予定）に伴い改定するもの。

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
〇環境省の地方公共団体等と連携したCO2排出削減促進事業費国庫補助金を活用し啓発を行った。 ・島根スサノオマジック冠試合での啓発 ・チラシの作成・配布、街頭啓発 ・パネルの作成・展示 ・松江ファンクラブアプリ「ぎゅっと松江」を活用した啓発 〇エネルギー管理講習の受講（1名）	〇エネルギー管理講習の受講（1名）	〇エネルギー管理講習の受講（1名） 〇「松江市地球温暖化対策実行計画」の改定

達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

R4スケジュール

時期	実施内容	時期	実施内容
6月	エネルギー管理講習受講		

本事業に関する主要データ

〇 現行の「松江市地球温暖化対策実行計画」

策定時期　平成 27 年 4 月
計画期間　平成 27 年度～令和 6 年度

二酸化炭素排出量削減目標（2005 年度比）

短期目標（2020 年度）	15%以上
計画目標（2024 年度）	20%以上
中期目標（2030 年度）	30%以上
長期目標（2050 年度）	80%以上

〇 国の「地球温暖化対策計画」

閣議決定　令和 3 年 10 月
計画期間　閣議決定日から 2030 年度末まで

温室効果ガス削減目標（2013 年度比）

2030 年度	46%　さらに 50%に向け挑戦

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		1,498	40
財源内訳	国・県支出金	1,096	0
	地方債		
	その他		0
	一般財源	402	40
歳入合計		1,498	40

課題

〇温対法改正に伴い、新たに地方公共団体実行計画に規定する項目を検討する。
・再生可能エネルギー利用促進等、温室効果ガス排出削減のための施策の実施目標（規定義務）
・地域脱炭素化促進事業の目標、対象区域等（努力義務）

方向性

〇「松江市環境基本計画」を補完する、脱炭素社会（カーボンニュートラル）の実現に向けた具体的施策・取り組みを示す新たな「松江市温暖化対策実行計画」を策定する。
〇再生可能エネルギーの取扱いについては、策定中の「松江市再生可能エネルギービジョン」でアウトラインを構成する。

共創の状況	

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
旅費	21		
役務費	1		
負担金補助及び交付金	18		
事業費計		40	

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
環境エネルギー部リサイクル都市推進課	分別啓発事業費（出前講座の活用、環境学習への協力）

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	日本が誇る「環境主都まつえ」
	主要施策	地球温暖化対策事業

事業の目的と目標

目的（何のために）

ごみの分別を徹底し、減量化・資源化を促進するため、市民や事業者に対し、啓発活動を行い、ごみの分別推進を図る

目標（何を達成するのか）

市民や事業者のごみの減量化・資源化を図る

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
数値目標にそぐわない				

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	年間	出前講座と環境学習の開催		

事業概要

・出前講座の活用
　町内会・自治会や市民団体等、小グループで開催されるごみ分別の学習会やセミナーに、市の出前講座を活用されるよう積極的にＰＲし、きめ細かい環境学習の実施と情報提供を図る。
・学校での環境学習への協力
　学校と行政、地域が連携し、主に小学4年生時に実施される環境学習をより充実させる。また、学校給食で提供される牛乳パックのリサイクルなど、学校生活の中で環境配慮の取組みが行われるよう協力を求める。

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
出前講座　8地域団体　103名 環境学習　4小学校　181名	出前講座　8地域団体　150名 環境学習　10小学校　200名	出前講座　10地域団体　180名 環境学習　12小学校　220名

達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

本事業に関する主要データ

出前講座・環境学習実施状況一覧

◆令和2年度

No.	講座No.	開催月日	団体名	団体の種別	参加人数
1	43	8月6日	生馬地区リサイクル協力員	生馬公民館	30
2	43	9月15日	竹矢小学校	小学校	24
3	43	9月16日	竹矢小学校	小学校	24
4	43	9月17日	生馬地区リサイクル協力員	生馬公民館	8
5	43	10月2日	秋鹿公民館	秋鹿環境会議	22
6	43	10月6日	鹿島支所	環境美化推進協議会	15
7	43	10月8日	意東小学校	小学校	30
8	43	10月13日	来待小学校	小学校	14
9	43	11月14日	大野公民館	公民館	17
10	43	11月26日	八東学園	小学校	19
11	43	11月26日	鹿島東小学校	小学校	18
12	43	12月1日	鹿島東小学校	小学校	18
13	43	2月4日	秋鹿小学校	小学校	11
計					250

◆令和3年度

No.	講座No.	開催月日	団体名	団体の種別	参加人数
1	43	5月18日	生馬公民館	公民館	23
2	43	5月23日	大野公民館	公民館	17
3	43	5月28日	城北公民館	公民館	5
4	43	7月3日	法吉公民館	公民館	17
5	43	7月16日	佐太小学校	小学校	11
6	43	9月21日	古志原小学校	小学校	110
7	43	10月13日	来待小学校	小学校	20
8	43	10月19日	本庄小学校	公民館	12
9	43	10月19日	鹿島支所	環境美化推進協議会	10
10	43	11月20日	法吉公民館	公民館	21
11	43	11月25日	八東学園	小学校	28
12	43	12月2日	西忌部柳原上自治会	自治会	10
計					284

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		469	787
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	469	787
歳入合計		469	787

共創の状況	

課題

新型コロナ感染症の影響で、出前講座や環境学習の開催を控えている現状がある

方向性

少人数での対応やオンライン形式での開催を検討する

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
事業費計			0

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
環境エネルギー部環境エネルギー課	ブルーカーボン活用事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	日本が誇る「環境主都まつえ」
	主要施策	ブルーカーボン活用事業

事業の目的と目標

目的（何のために）	数値目標				
海草や海藻、水草等によって吸収される二酸化炭素（ブルーカーボン）を活用したカーボンオフセット制度を構築し、二酸化炭素の吸収促進にあわせ、地域振興や産業振興、環境保全につながる取り組みを確立する。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
	成果指標になじまない				
目標（何を達成するのか）					
2050年までに温室効果ガス（二酸化炭素）の排出を実質ゼロにする。（カーボンニュートラルの実現）					

事業概要

先進事例を踏まえ、市内水域（日本海・宍道湖・中海・大橋川・松江堀川 等）におけるブルーカーボンのポテンシャルを調査し、カーボンオフセットに向けた事業モデルを構築する。

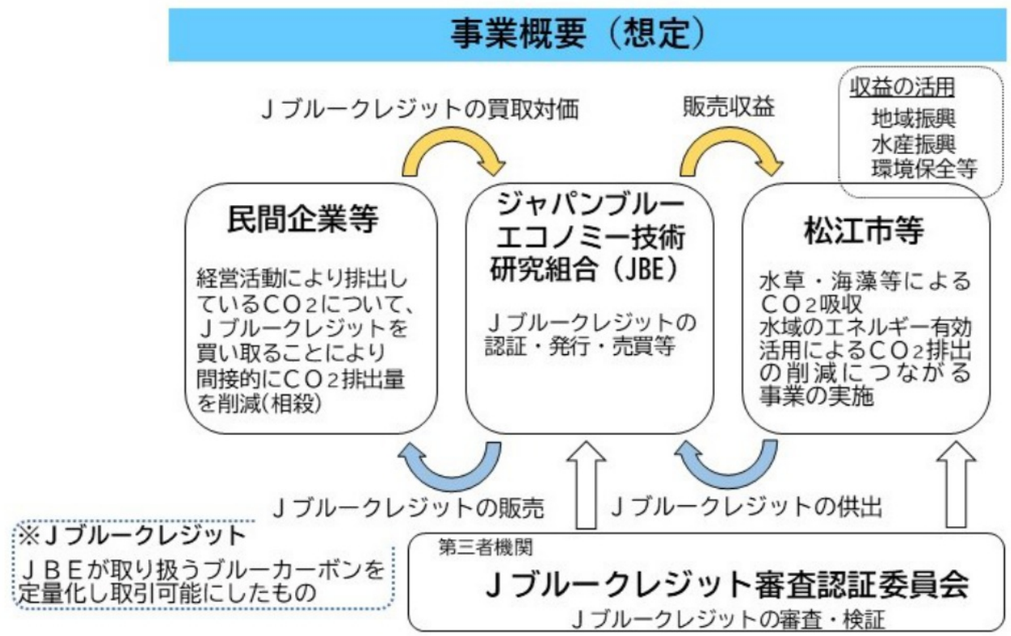
事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
○事業化可能性検討	○藻場等の詳細調査 ○全体構想の設計 ○オフセット制度のスキーム構築	○運用（社会実験～本格実施）

達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	7～3月	全体構想設計等業務委託		

本事業に関する主要データ



歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		979	5,543
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		5,543
	一般財源	979	0
歳入合計		979	5,543

共創の状況	

課題

○国の認証制度の確立
○海藻等の生育に必要な期間の確保
○藻場造成エリアの選定
○プレイヤー（漁業者・自治会・NPO・行政 等）の選定

方向性

○ブルーカーボン・オフセットの実現に向けた手法の検討
○クレジット認証による地域振興や産業振興、環境保全につながる具体的な取り組みの検討

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
委託料	5,543		
事業費計		5,543	

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
環境エネルギー部環境エネルギー課	カーボンニュートラル推進事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	日本が誇る「環境主都まつえ」
	主要施策	カーボンニュートラル推進事業

事業の目的と目標

目的（何のために）

ゼロカーボンシティの実現に対する市民理解の拡大と具体的活動の実践に向け、市民・事業者・行政の協働による取り組みを推進する。

目標（何を達成するのか）

2050年までに温室効果ガス（二酸化炭素）の排出を実質ゼロにする。（カーボンニュートラルの実現）

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
二酸化炭素実質排出量（千t-CO2）	1,303	1,259	1,215	0

事業概要

（数値目標の目標年度）項目名／二酸化炭素実質排出量：2050年度

○「まつえ環境市民会議」のメンバーを中心とし、カーボンニュートラルの取り組みを実践するための意見交換会を開催する。
○エコカーの普及や住宅・事業所における省エネルギーの推進のための市民セミナーを開催する。
○取り組みの見える化を進め、具体的な取り組みを全市に拡大する。

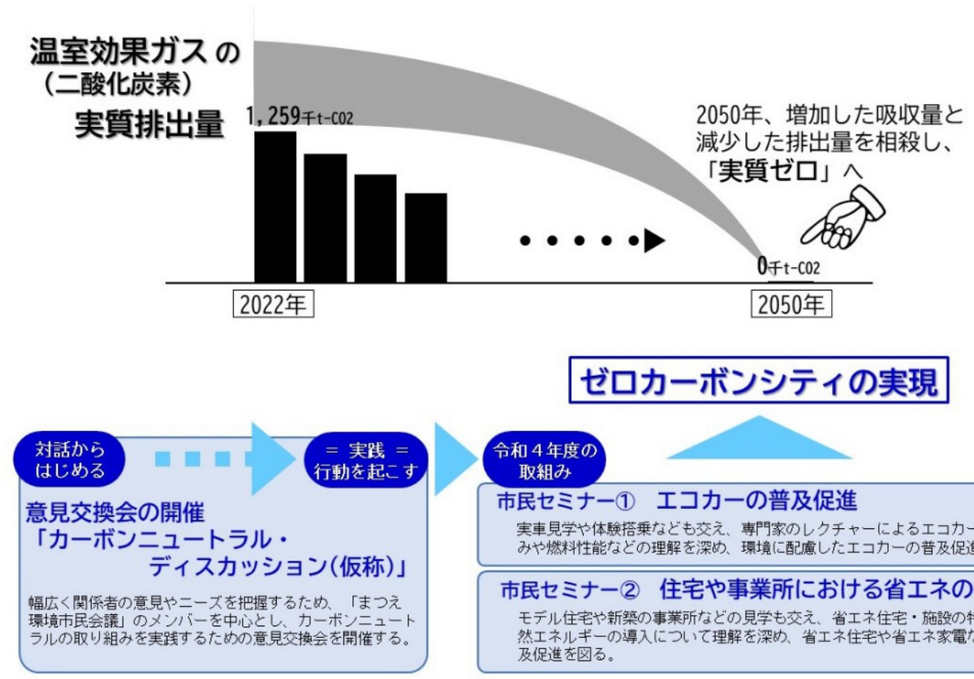
事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
	○意見交換会の開催 ○市民セミナーの開催（エコカー、省エネ） ○情報共有（デジタルアーカイブ等）	○意見交換会の開催 ○市民セミナーの開催（エコカー、省エネ） ○情報共有（デジタルアーカイブ等）

達成度

時期	実施内容	時期	実施内容
R4スケジュール	4～6月	意見交換会の開催		
	8～9月	市民セミナー（エコカー）		
	10月	市民セミナー（省エネ）		

本事業に関する主要データ



歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		0	2,361
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		2,361
	一般財源	0	0
歳入合計		0	2,361

共創の状況	補助・助成

課題

○参画する企業・団体等の集約
○具体的活動の実践内容

方向性

○幅広い関係者と連携・協働し、情報・課題・認識を共有する。
○企業・団体等それぞれの取り組みに対し協力・補完しつつ、自らの行動の向上を促進する。
○取り組みの見える化を進める。

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	2,361		
事業費計		2,361	

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
環境エネルギー部環境対策課	水質汚濁防止対策事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり			
	基本施策	日本が誇る「環境主都まつえ」			
	主要施策				

事業の目的と目標

目的（何のために）

水質汚濁防止法に基づき、各事業所への立入検査や指導・助言を行い、河川・湖沼・海域の水質保全に資することを目的とする。

目標（何を達成するのか）

市内4河川（5地点）、3海域（4地点）において環境基準点を設置し、公共用水域・地下水水質測定計画を定め常時監視を行い、環境基準の達成を目指す。

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
BOD75%値(忌部川AA)【mg/ℓ】	1.4	1	1	1
BOD75%値(忌部川A)【mg/ℓ】	2.6	2	2	2
BOD75%値(山居川D)【mg/ℓ】	2.2	8	8	8

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月	公共用水域（河川・海域）水質調査、水浴場遊泳適否調査		
	9月	地下水水質調査		
	10月	ゴルフ場農薬等流出モニタリング調査		

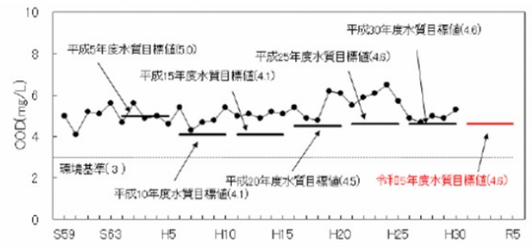
事業概要

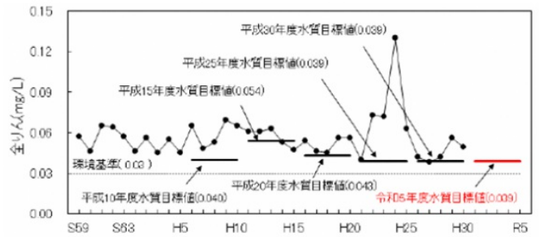
・水質汚濁防止法に係る事務を行うもの（特定施設の設置・変更・廃止・承継に係る事務、計画変更・改善命令に係る事務、立入検査・報告徴収に係る事務、公共用水域常時監視・国への報告・結果の公表に係る事務等）。
・公共用水域における水質事故（油流出事故等）に対して関係機関とともに事故処理を行うもの。

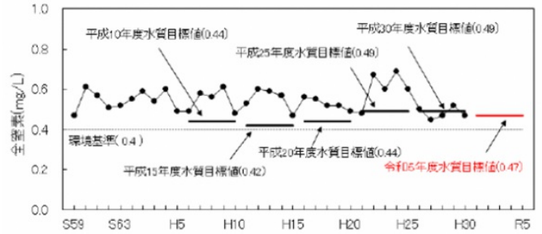
本事業に関する主要データ

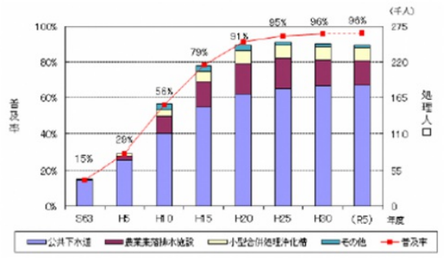
【宍道湖水環境改善協議会】
・泳げる宍道湖（遊泳適否調査判定結果：遊泳可）

＜参考＞宍道湖の現状　出典：第７期宍道湖湖沼水質保全計画の概要（島根県）









事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
一部の地点において環境基準を達成する見込み。	全地点において環境基準を達成する。	全地点において環境基準を達成する。

達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

共創の状況	

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		5,024	5,958
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		5,958
	一般財源	5,024	0
歳入合計		5,024	5,958

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
需用費	60		
委託料	5,898		
事業費計			5,958

課題

・令和3年度は、一部の地点において環境基準を達成できなかったため、今後、水質測定計画を見直し測定項目を拡充して、水質常時監視の精度を高めていく必要がある。
・宍道湖に流入する汚濁負荷量は着実に減少し、水質はおおむね改善傾向にあるものの、水草が大量繁茂し悪臭（腐敗）が発生するなど、そのメカニズムを解明する必要がある。
・上下流部の交流が必要である。

方向性

・環境基準を達成できなかった地点においては、設定した課題の達成に努める。環境基準を達成できた地点については、引き続き良好な状態を維持するため監視に努める。
・水質と汚濁負荷量の因果関係の調査・研究を進める。
・宍道湖周辺の住民や事業者、自治体のみではなく上下流部の交流を進める。

令和4年度　総合計画実施計画

環境エネルギー部環境エネルギー課　地球温暖化対策機器等導入促進事業補助金

所属	事業名
環境エネルギー部環境エネルギー課	地球温暖化対策機器等導入促進事業補助金

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり			
	基本施策	日本が誇る「環境主都まつえ」			
	主要施策				

事業の目的と目標

目的（何のために）

再生可能エネルギー機器等の導入を促進し、地球温暖化対策における二酸化炭素排出量の削減及び省エネルギーの推進を図る。

目標（何を達成するのか）

住宅及び事業所への初期投資に係る経費を支援し、再生可能エネルギー機器等の導入促進を図ることで、太陽光発電の電力量を増やし、よって二酸化炭素排出量の削減に繋げる。

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
松江市内の太陽光発電の電力量（MWh）	65,537	67,090	68,570	70,049

事業概要

【補助金額内容】
- 住宅用太陽光発電システム　※1kwあたり30,000円（上限120,000円）
- 事業所用太陽光発電システム　※1kwあたり12,500円（上限 50,000円）
- ペレットストーブ　※設置費の1/5　（上限 60,000円）
- 薪ストーブ　※設置費の1/5　（上限100,000円）
- 太陽熱利用設備（ソーラーシステム）　※設置費の1/2　（上限300,000円）
- 家庭用燃料電池システム（エネファーム）※設置費の1/10（上限140,000円）
- 蓄電池設備　※定額100,000円

※数値目標の目標年度：2024年度(R6)（出展：松江市地球温暖化対策実行計画）

事業計画

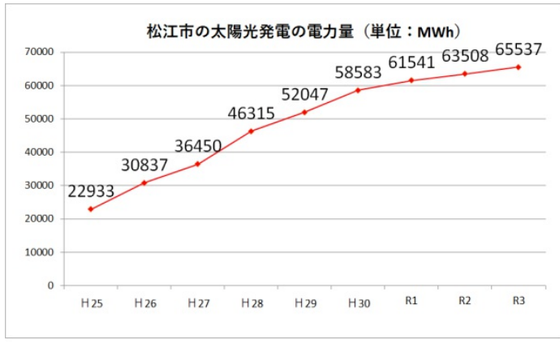
R3実績見込	R4計画	R5計画
・住宅用太陽光発電システム：66件 ・ペレットストーブ：2件 ・薪ストーブ：10件 ・太陽熱利用設備（ソーラーシステム）：2件 ・家庭用燃料電池システム（エネファーム）：3件 ・蓄電池設備：28件	・住宅用太陽光発電システム：66件 ・事業所用太陽光発電システム：2件 ・ペレットストーブ：5件 ・薪ストーブ：10件 ・太陽熱利用設備（ソーラーシステム）：12件 ・家庭用燃料電池システム（エネファーム）：2件 ・蓄電池設備：30件（単独設置5件含む）	

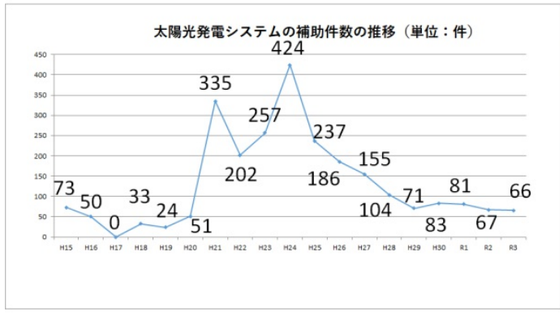
達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

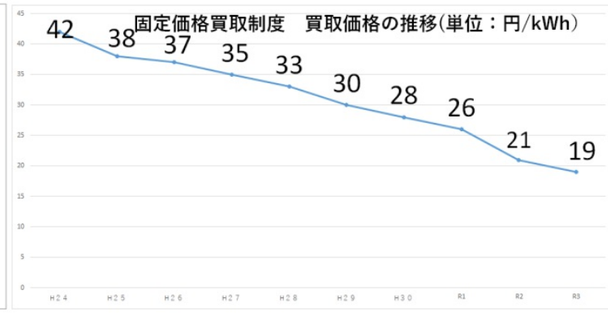
R4スケジュール

時期	実施内容	時期	実施内容
4月	補助金受付開始		
4月～3月	制度の周知、申請受付、交付決定、実績報告受付、補助金交付		

本事業に関する主要データ







歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		10,610	16,327
財源内訳	国・県支出金	6,800	10,770
	地方債		
	その他	2,992	4,907
	一般財源	818	650
歳入合計		10,610	16,327

共創の状況	

課題

太陽光発電システムの補助件数は、平成25年度に国の補助金制度が終了したことと、固定価格買取制度（FIT）の買取価格の低下、既設住宅への導入が普及してきたことなどにより減少傾向にある。

方向性

新たに、事業所用太陽光発電システム設置への補助や蓄電池の単独設置も対象にするなど、補助内容の見直しを行い、さらなる導入促進を図る。

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
役務費	47		
負担金補助及び交付金	16,280		
事業費計		16,327	

令和4年度　総合計画実施計画

環境エネルギー部環境エネルギー課　宍道湖水環境改善協議会負担金

所属	事業名
環境エネルギー部環境エネルギー課	宍道湖水環境改善協議会負担金

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり				
	基本施策	日本が誇る「環境主都まつえ」				
	主要施策					

事業の目的と目標

目的（何のために）

宍道湖及び流域の総合的な水環境の改善について、共通課題の認識と連携協働した取り組みの推進を図り、恵み豊かな宍道湖の再生と流域住民の良好な生活環境を育む

目標（何を達成するのか）

水質浄化(泳げる宍道湖)

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
遊泳適否調査判定結果(適・可・不適)				

事業概要

【宍道湖水環境改善協議会】
設立年月日：平成24年7月19日
構　　成：国土交通省中国地方整備局出雲河川事務所、島根県、松江市、出雲市
負　担　金：松江市(2,002千円)　出雲市(780千円)　宍道湖の面積按分
事　　業：水質浄化、生物の生育環境の保全、親水環境の創出、水環境改善意識の普及・啓発、環境保全活動の推進、関係機関との連携

事業計画

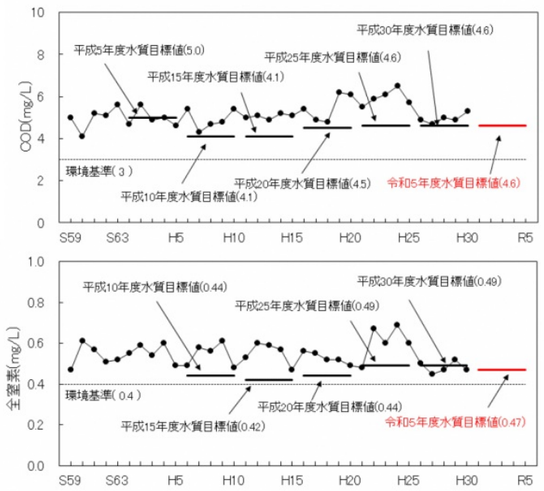
R3実績見込	R4計画	R5計画
・水質調査 (遊泳適否調査判定結果：遊泳可) ・ヨシ関連事業 (ヨシ刈り取り、ヨシ紙) ・宍道湖絵画コンクール	・水質調査 (遊泳適否調査判定結果：遊泳可) ・中海・宍道湖一斉清掃 ・ヨシ関連事業 (ヨシ刈り取り、ヨシ紙) ・環境関連啓発事業 (環境学習：手長エビ採り体験、シジミ採り体験) ・斐伊川水系上下流交流 (雲南市、奥出雲町住民との交流、森林保全、木育、ノベルティグッズの作成、尾原ダムの施設見学)	・水質調査 (遊泳適否調査判定結果：遊泳可) ・中海・宍道湖一斉清掃 ・ヨシ関連事業 (ヨシ刈り取り、ヨシ紙) ・環境関連啓発事業 (環境学習：手長エビ採り体験、シジミ採り体験) ・斐伊川水系上下流交流 (雲南市、奥出雲町住民との交流、森林保全、木育、ノベルティグッズの作成、尾原ダムの施設見学)

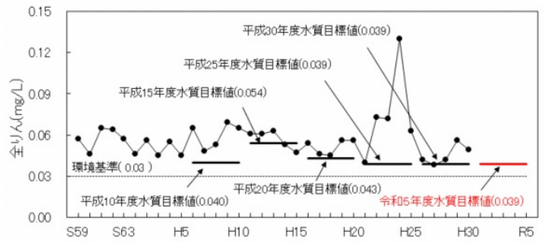
達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

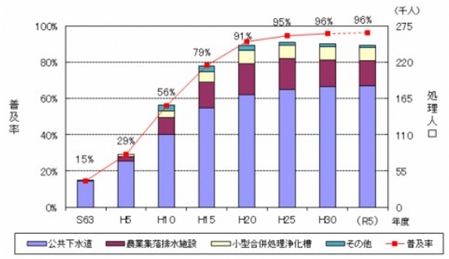
	時期	実施内容	時期	実施内容
R4スケジュール	6月	中海・宍道湖一斉清掃	8月	環境学習(シジミ採り体験)
	7月	環境学習(手長エビ採り体験)	10月	斐伊川水系上下流交流(雲南市)
	7月	斐伊川水系上下流交流(奥出雲町)	10月	水質調査
	7月	水質調査	12～3月	ヨシ関連事業(ヨシ刈り取り、ヨシ紙)

本事業に関する主要データ

＜参考＞宍道湖の現状







出典：第7期宍道湖湖沼水質保全計画の概要(島根県)

歳入・歳出の推移(単位：千円)

		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		2,002	2,002
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他	2,002	2,002
	一般財源	0	0
歳入合計		2,002	2,002

課題

・島根県が宍道湖湖沼水質保全計画を策定し、7期34年にわたり下水道の整備や工場・事業場からの排水規制、農地や市街地など非特定汚染源からの流出負荷削減等の水質保全対策を進め、宍道湖へ流入する汚濁負荷量は着実に減少し、水質は概ね改善傾向にあるものの、水草が大量繁茂(腐敗し悪臭を発生、漁船のスクリューに絡みつき操業の妨げ)するなど、そのメカニズムは未解明
・上下流部の住民、事業者、自治体の交流

方向性

・水質と汚濁負荷量の因果関係の調査・研究を進める
・水質浄化を目指し、宍道湖周辺の住民や事業者、自治体のみではなく、上下流部の交流を進める

共創の状況	

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
負担金補助及び交付金	2,002		
事業費計			2,002

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部大橋川治水事業推進課	水辺の利活用促進事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり			
	基本施策	世界の水都MATSUEが水辺と公共交通の概念を変えた			
	主要施策	水辺の利活用と回遊性を高めるかわまちづくり			

事業の目的と目標

目的（何のために）

大橋川周辺の水辺空間において、持続可能な利活用の仕組みをつくるとともに、人と人とのつながりが広がり賑わいのある水辺空間の創出を図る。

目標（何を達成するのか）

「宍道湖・大橋川かわまちづくり計画」に関連する事業を実施し、中心市街地の賑わいやまちあるき動線を創出し、あるきたくなるまちを目指す。

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
水辺の公共空間活用日数（日/年）	174	174	174	175
水辺が利用しやすいと感じる市民割合(%)	28	56	58	70

事業概要

（数値目標の目標年度）
水辺の公共空間活用日数：2029(R11)年度　水辺が利用しやすいと感じる市民の割合(%)：2029(R11)年度

【かわまちづくり計画に基づくソフト・ハード施策の実施】
・官民協働によるミズベリング松江協議会の運営及び構成団体の水辺利活用支援
・ミズベリング縁日など水辺でのイベントの実施
・利活用促進のため収益事業を含む社会実験の実施
・千鳥南公園の再整備及び国による親水護岸整備との協議・調整

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
・ミズベリング松江協議会の運営（構成団体の利活用支援、オンライン部会開催） ・水辺利活用社会実験（伊勢宮港湾緑地　松江商工会議所と連携） ・ミズベリング縁日 ・公共空間利活用庁内ワーキング ・水辺空間マップの作成	・ミズベリング松江協議会の運営及び構成団体の水辺利活用促進 ・水辺利活用社会実験（白潟公園・伊勢宮港湾緑地等） ・ミズベリング縁日	・ミズベリング松江協議会の運営及び構成団体の水辺利活用促進 ・水辺利活用社会実験（白潟公園 ・伊勢宮港湾緑地等） ・ミズベリング縁日

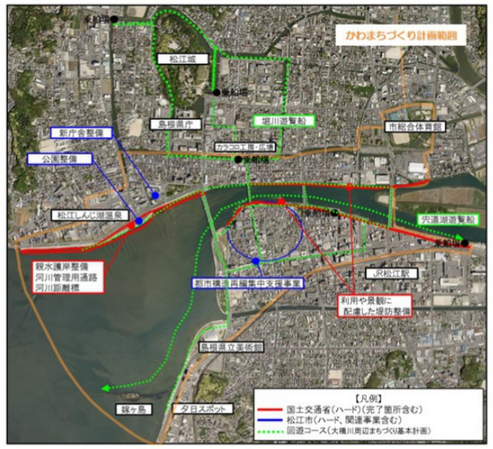
達成度

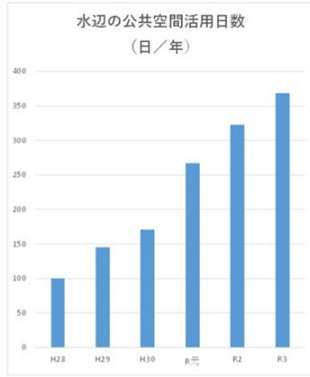
1	計画目標に向けて順調に推移

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～3月	構成団体の水辺利活用支援		
	4月～3月	水辺利活用社会実験		
	10月	ミズベリング縁日		
	3月	ミズベリング松江協議会会議		

本事業に関する主要データ

宍道湖・大橋川かわまちづくり計画の概要





(注) 水辺の公共空間活用日数：
千鳥南公園、白潟公園、岸公園、源助公園、伊勢宮港湾緑地、向島護岸周辺における延べ活用日数

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		1,000	3,800
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他	1,000	3,800
	一般財源	0	0
歳入合計		1,000	3,800

共創の状況	協議会

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
委託料	3,000		
負担金補助及び交付金	800		
事業費計			3,800

課題

・持続可能な利活用のための運営体制の確立とプレイヤーの育成が必要。
・水辺や歴史的なまちなみを巡るための連続的な歩行者空間が必要。
・大橋川改修にあわせた水辺空間の利活用が必要。

方向性

・多様な水辺の表情を見ながら回遊できる空間の創出を図る。
・松江駅前から水辺や商店街を歩きながら、松江城まで回遊できる歩行者動線上に魅力的なエリアを形成する。
・市民や事業者等との協働・共創により、利用しやすく、魅力ある水辺空間の形成を推進する。

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部交通政策課	ＡＩデマンドバス導入事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	世界の水都MATSUEが水辺と公共交通の概念を変えた
	主要施策	公共交通を補完する新たな交通手段の導入

事業の目的と目標

目的（何のために）

AI（人工知能）の特性を発揮できる地理的条件を備えた地区にAIデマンドバスを導入することで、移動の利便性向上を図る。

目標（何を達成するのか）

美保関町宇井～境港間、八束～境港間にAIデマンドバスを導入し、域内の回遊性を高め、利便性向上を図る。

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
路線バス・コミュニティバスの利用者数	353	475	475	475

事業概要

AIデマンドバスの令和5年度導入に向けた調査・設計及び運行準備。

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
	・現地調査、乗降場所選定 ・設計（基礎データ作成、システム動作確認等） ・地域公共交通会議（松江市、境港市） ・市民への事前周知	・本運行の開始 ・試乗会等のPR活動 ・他地区へのAIデマンドバス導入の検討

達成度

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	～３月	調査・設計及び運行準備		

本事業に関する主要データ

AIデマンドバス導入イメージ

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		0	17,744
財源内訳	国・県支出金	0	10,666
	地方債	0	
	その他	0	0
	一般財源	0	7,078
歳入合計		0	17,744

共創の状況	協議会

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
需用費	100		
委託料	17,644		
事業費計		17,744	

課題

既存交通事業者（特にタクシー事業者）との棲み分け。

方向性

AI（人工知能）の特性を発揮できる地理的条件を備えた美保関町宇井～境港間、八束～境港間にAIデマンドバスを導入する。

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部交通政策課	松江市地域公共交通計画策定準備費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	世界の水都MATSUEが水辺と公共交通の概念を変えた
	主要施策	バスの利便性向上と利用促進

事業の目的と目標

目的（何のために）

持続可能な地域公共交通網を再構築するため、松江市地域公共交通計画（松江市公共交通体系整備計画第4次計画）を策定する。

目標（何を達成するのか）

持続可能な地域旅客運送サービスを確保するとともに、市内公共交通の利便性向上と利用促進を図る。

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
路線バス・コミュニティバス利用者数	353	475	475	475

事業概要

「松江市地域公共交通計画」策定（令和5年度予定）にあたり、その準備作業として現状調査と課題整理等を行う。

時期	実施内容	時期	実施内容
～3月	現状調査、現状分析、課題整理、方針案策定		

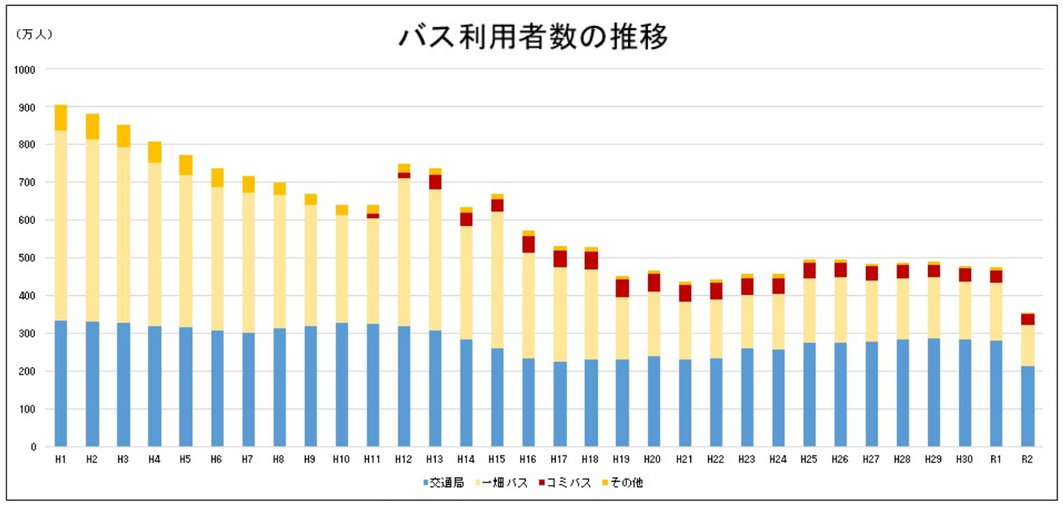
R4スケジュール

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
	「松江市地域公共交通計画」策定（令和5年度予定）に向けた準備作業として、市内バス路線等の現状調査・課題整理、データ集約・分析等を行う。	松江市地域公共交通計画を策定する。

達成度

本事業に関する主要データ



（単位：万人）

	H1	H10	H20	H30	R1	R2
交通局	335	327	241	284	282	213
一畑バス	502	285	170	153	154	110
コミバス			46	34	32	28
その他	68	28	10	8	7	2
計	905	640	467	479	475	353

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		0	6,211
財源内訳	国・県支出金	0	1,853
	地方債	0	
	その他	0	0
	一般財源	0	4,358
歳入合計		0	6,211

共創の状況	委託

課題	方向性
各交通事業者との協議、調整	利用状況の実態を把握したうえで、AIデマンドバスをはじめとする新しい交通モードを活用しながら、持続可能な地域公共交通網を確保する。

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
旅費	34		
委託料	6,177		
事業費計			6,211

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部大橋川治水事業推進課	白潟地区都市構造再編集中支援事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり			
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある			
	主要施策	大橋川改修に伴うまちづくり（白潟地区都市構造再編集中支援事業）			

事業の目的と目標

目的（何のために）

中心市街地において賑わいの動線をつなげ、歩きたくなる水辺空間や市街地を形成することにより、中心市街地の魅力向上を図る。

目標（何を達成するのか）

遊休不動産の活用やまちあるきルートの形成、まちなみ景観の整備を進め、白潟地区と大橋川周辺の水辺に賑わいを創出し、動線をつなげることを目指す。

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
中心市街地の歩行者・自転車通行量(人)	12,691	22,606	22,836	24,500
遊休不動産の事業化数（件）	3	3	3	3
まちなみ景観の満足度(%)	42.5	42.5		42.5

事業概要

（数値目標の目標年度）歩行者・自転車通行量(中心市街地)：2029(R11)年度
遊休不動産の事業化数、まちなみ景観の満足度：2024(R6)年度

【施策方針１　既存ストックと水辺空間の活用】
・水辺の賑わい拠点整備（約1400㎡）、交流拠点整備（約215㎡）、出店基盤整備、まちづくり委員会への専門家派遣、公共空間（水辺・広場・歩道）における社会実験
【施策方針２　地域資源を巡るまちあるきルートの創出】
・歩行者空間整備及び美装化（和多見天神橋線他）、景観照明整備（73基）、案内版整備（6基）
【施策方針３　水辺や都市空間と調和した落ち着きのあるまちなみ形成】
・電線類の地中化（松江港線）、住宅等修景支援

事業計画

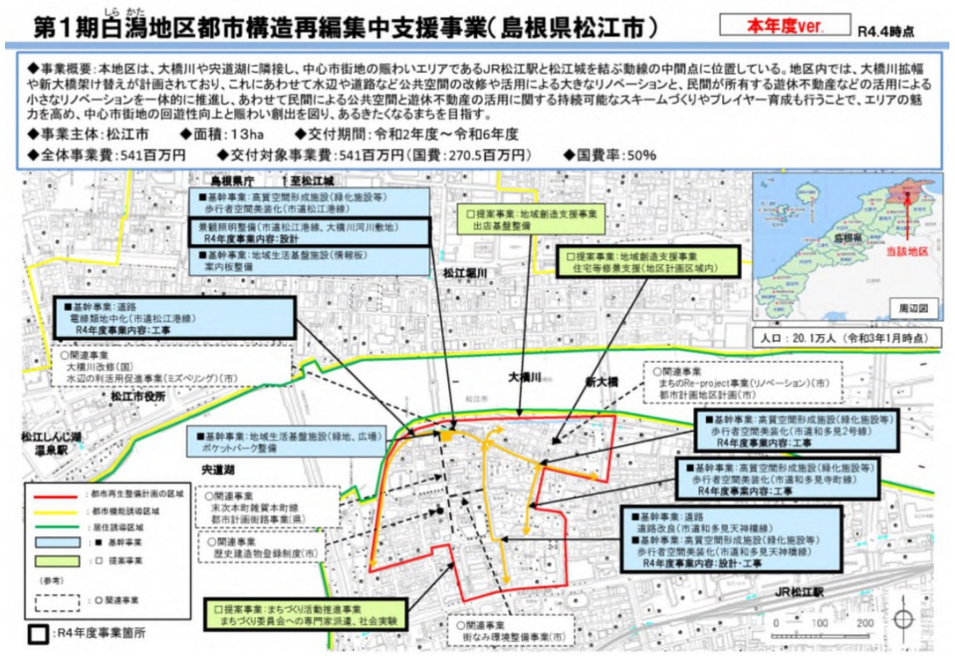
R3実績見込	R4計画	R5計画
・白潟本町通り（都市計画道路末次本町雑賀本町線）での社会実験 ・電線類の地中化（詳細設計） ・歩行者空間整備・美装化設計 ・景観照明設計 ・住宅等修景支援	・白潟本町通り（都市計画道路末次本町雑賀本町線）での社会実験 ・電線類の地中化工事（松江港線） ・歩行者空間・美装化設計 ・歩行空間・美装化工事（和多見寺町線、和多見２号線） ・住宅等修景支援	・電線類の地中化工事（松江港線） ・電線類の地中化設計（和多見天神橋線） ・景観照明整備工事（松江港線） ・案内看板整備設計

達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

時期	実施内容	時期	実施内容
6月	歩行空間整備・美装化工事契約		
8月～3月	住宅等修景補助金申請・交付		
10月	白潟本町通りでの社会実験		

本事業に関する主要データ

【白潟地区都市構造再編集中支援事業概要】



共創の状況	協議会

歳入・歳出の推移(単位：千円)

		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		17,470	84,059
財源内訳	国・県支出金	9,969	42,000
	地方債	2,900	33,700
	その他		0
	一般財源	4,601	8,359
歳入合計		17,470	84,059

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
旅費	30		
委託料	6,000		
使用料及び賃借料	29		
工事請負費	75,000		
負担金補助及び交付金	3,000		
事業費計		84,059	

課題

・まちづくりを担う民間プレイヤーの育成が必要
・水辺や歴史的なまちなみを巡るための歩行者空間に連続性が必要
・大橋川改修や新大橋架替え、白潟本町通り整備との整合をとったまちづくりが必要

方向性

・松江駅前から白潟を通り松江城に達するまでの動線上に、歩きたくなる魅力的なエリアを形成する

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部都市政策課	松江駅周辺再生検討事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり				
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある				
	主要施策	まちなかにおける賑わい拠点づくり				

事業の目的と目標

目的（何のために）	数値目標				
JR松江駅から殿町周辺までのL字ラインの賑わいの動線をつくるため、駅周辺エリアの拠点性を高め、賑わいの創出を図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
	数値目標になじまない				
目標（何を達成するのか）					
松江駅前が人々が集う「松江の顔」となるよう、広場の整備等の再生にかかる事業手法を検討をする。					

事業概要

中心市街地エリアビジョン（Ｒ４年３月策定）では、松江駅周辺エリアについて、「多くの来訪者が憩い集う松江の玄関」と位置づけている。Ｒ４年度からは、
・南北駅前広場の機能の再配置
・駅から歩きたくなる空間や店舗の繋がりの創出　などの取り組み案について検討を進めていく。
駅周辺エリアの機能配置や土地利用に関する意見等を踏まえ、関係者間の調整を図りながら再生に向けた検討を行う。

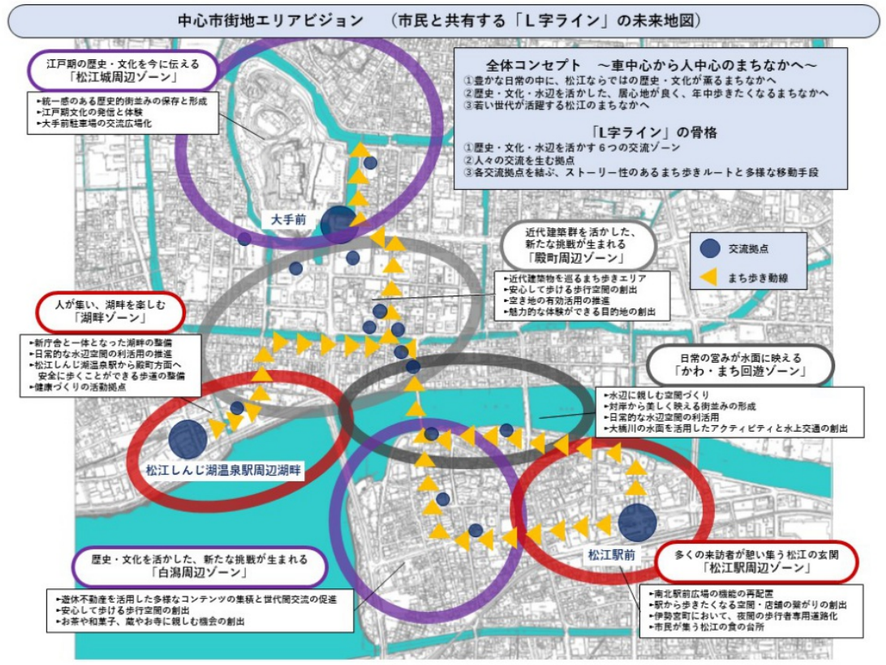
事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
・中心市街地エリアビジョンの策定 ・事業手法等の検討、整理	・中心市街地エリアエリアビジョンを踏まえた意見交換 ・エリアビジョンを踏まえた事業手法等の検討、整理	・エリアビジョンを踏まえた事業手法等の検討、整理

達成度	
2	計画目標に向かって概ね順調

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	６月～	エリアビジョンを踏まえた意見交換会		
	６月～	事業手法等の検討、整理		

本事業に関する主要データ



歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費			
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	0
歳入合計		0	0

共創の状況	その他（協力、連携など）

課題

バスターミナルやタクシー乗り場が大部分を占め、来街者が交流できる賑わいスペースが不足しているため、機能の再配置を行い、限られたスペースの中でもわかりやすく、魅力的な機能を充実させる必要がある。

方向性

・エリアの目指すべきまちの姿（機能配置）を整理する。
・目指すべきまちの姿に近づけるために官民がそれぞれ取り組む事項を整理する。
・各取組事項について事業手法等を整理する

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
事業費計		0	

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部公園緑地課	子どもたちが遊びたくなる公園づくり事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり				
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある				
	主要施策	使いたくなる公園整備（地域の持つ特色を生かした魅力的な公園整備）				

事業の目的と目標

目的（何のために）

「子どもの生活に直結した安心安全なまちづくり」に向け、いつでも安心・安全に利用できる公園とするため、公園の遊具等の修繕や除草業務を密に行い、子育て環境日本一を目指す。

目標（何を達成するのか）

使用禁止遊具の解消と、除草管理の徹底を図り、公園利用者を増やす。

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
数値目標とすることに馴染まない。				

事業概要

子ども連れの方をはじめ、あらゆる市民の皆様がいつでも安心・安全に利用できる公園とするため、現在、使用禁止措置としている遊具の早期解消を優先に、年次的に更新、修繕を進めていく。
また、松江湖畔公園を除草（年間6回）を業者委託することで、市民に身近な公園の除草を現場班で行い、かつ、緊急的な対応にも迅速に対処し、子ども等が遊びやすい公園環境を維持していく。

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
■遊具の修繕・廃止（68基） ■松江湖畔公園を含む公園管理業務委託（40件）	■遊具の修繕・廃止（37基） ・R3年度　繰越対応分　7基 ・R4年度　現年対応分　30基 ■松江湖畔公園を含む公園管理業務委託（40件）	■遊具の修繕・廃止 ■松江湖畔公園を含む公園管理業務委託

達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月～3月	遊具の修繕・廃止		

本事業に関する主要データ

■使用禁止遊具の修繕計画（R3.10月末現在）

対応実績		R3.10末時点使用禁止遊具	対応年度	
令和2年度	令和3年度		令和4年度	令和5年度
23	68	20	20	0
（2）	（7）		（7）	

※内、（ ）数は社会資本整備交付金で対応する遊具

※この表に加え、点検や通報により新たな修繕箇所が発見された場合には、対応遊具数が増となる。

※揖屋ふれあい広場の遊具は含めない。

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		84,976	62,916
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債	24,600	6,900
	その他		48,000
	一般財源	60,376	8,016
歳入合計		84,976	62,916

共創の状況	共創の手法になじまない

課題

子ども連れの方など市民に身近な公園において、使用禁止遊具が増加しており、除草作業も行き届かず、公園の利用がしづらくなっている。

方向性

「松江市みどりの基本計画」で示している「利用しやすい公園、行きたくなる公園、魅力ある公園づくり」のため、重点的に使用禁止遊具の対応を行い、早期に解消を行う。また、乗用草刈機の購入により更なる効率的な防草作業を行い、管理頻度の向上を図る。

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
需用費	6,000		
委託料	56,091		
工事請負費	825		
事業費計			62,916

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部公園緑地課	公衆トイレ整備事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある
	主要施策	使いたくなる公園整備（地域の持つ特色を生かした魅力的な公園整備）

事業の目的と目標

目的（何のために）	数値目標				
「選ばれるまち松江」を将来像に掲げ、国際文化観光都市である松江市のイメージアップを図る。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
	数値目標とすることに馴染まない。				
目標（何を達成するのか）					
市民や観光客にとって利用しやすいトイレ環境としていく。					

事業概要

現在、松江市において「多目的トイレ」の整備を行う際、「松江市ひとにやさしいまちづくり条例」で定められた基準に基づき実施している。
しかし、公衆トイレの状況を踏まえた全市的な整備方針はないため、それぞれの所管課で整備を進めている状況である。
この度、具体的な優先整備ゾーンや実施期限等を「松江市公衆トイレの整備計画～みんなのためのトイレづくり～」で定め、子ども連れの方や、障がいのある方、観光客などあらゆる市民や観光客の皆様にとって利用しやすい公衆トイレの環境を構築していく。

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
■トイレ改修 設計 Ｃランク→Ａランク　１箇所	■トイレ改修 工事 Cランク→Aランク　１箇所	

達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容

本事業に関する主要データ

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費			6,388
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		5,700
	その他		
	一般財源	0	688
歳入合計		0	6,388

共創の状況	共創の手法になじまない

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
工事請負費	6,388		
事業費計		6,388	

課題

公衆トイレについては所管課が多岐にわたるため、事業実施にあたり整備順序等の調整が必要となる。
また、計画の中で廃止するトイレも設定しているが、住民へ今回の計画を理解をしていただくための手法を検討していく必要がある。

方向性

関係課と調整を図りながら、平準化して整備が進むよう調整を図る。
将来的に全市においてトイレ設置数が適正になるよう配置し、整備するトイレについてはその機能の拡充を図る。

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部公園緑地課	松江湖畔公園再整備事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある
	主要施策	使いたくなる公園整備（地域の持つ特色を生かした魅力的な公園整備）

事業の目的と目標

目的（何のために）

宍道湖岸や松江しんじ湖温泉街等に隣接する松江湖畔公園の立地特性を踏まえ、多くの市民や観光客の憩いの場や水辺の賑わいを創出していく。

目標（何を達成するのか）

宍道湖岸や松江しんじ湖温泉街等の立地特性を踏まえ、松江湖畔公園の将来の利用形態を見据えた再整備を行うことで、水辺や市街地の賑わいを創出していく。

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
数値目標とすることに馴染まない。				

	時期	実施内容	時期	実施内容
R4スケジュール	4月～6月	松江湖畔公園（末次公園）基本計画策定業務委託の発注		
	6月～3月	松江湖畔公園（末次公園）基本計画策定業務委託		
	3月	業務完了		

事業概要

「新庁舎整備事業」及び「宍道湖・大橋川かわまちづくり計画」と連携を図り、宍道湖岸や松江しんじ湖温泉街等の立地特性を踏まえ、観光客や日常湖岸や公園を利用される市民のための利便性・快適性の向上を目的とした公園整備について、松江湖畔公園（千鳥南公園・末次公園）の再整備基本計画を策定し、整備工事を実施する。

本事業に関する主要データ

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
松江湖畔公園（千鳥南公園）実施設計	松江湖畔公園（末次公園）基本計画策定	

達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費			
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	0
歳入合計		0	0

共創の状況	検討中

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
委託料	9,394		
事業費計		9,394	

課題

松江湖畔公園の再整備にあたり、「かわまちづくり支援制度」を活用し、市民が利活用しやすい水辺空間の創出や民間活力を活かした水辺の賑わいづくりに関連して、公募設置管理制度等の民間活力の導入に向けた検討や新庁舎整備事業(末次公園再整備)との調整が必要となってくる。

方向性

水辺の利活用として「宍道湖・大橋川かわまちづくり計画」と新庁舎整備事業の進行スケジュールとの調整を図りながら、水辺の賑わいづくりを創出していくため、松江湖畔公園（千鳥南公園・末次公園）の再整備について、検討を行っていく。

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部公園緑地課	公園のあり方検討事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり				
	基本施策	松江には歩きたくなるまちなみがある				
	主要施策	公園のあり方検討事業				

事業の目的と目標

目的（何のために）

魅力的な公園の整備・維持管理を行うことで、利用しやすい公園、行きたくなる公園づくりを目指す。

目標（何を達成するのか）

公園に対するニーズの調査、分析を行い、将来の公園のあり方を検討し、整備や利活用の方針を策定する。

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
公園や広場等の環境に対する満足度（%）	50	50	50	60

事業概要

魅力的な公園の整備・維持管理を行っていくため、公園に対する市民・利用者・民間事業者のニーズの調査、分析を行い、将来の公園のあり方を検討するもの。

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
公園の整備の方針の策定にあたり、公園に対するニーズの把握の手法に係る調査検討を行うほか、民間や地域が主体となった利活用についての情報提供資料を作成する。	公園に対する市民・利用者・民間事業者のニーズの調査・分析を行う。 ・公園のあり方協議会の設置 ・全市アンケート ・公園利用者数調査 ・利用者アンケート ・サウンディング型市場調査	公園利用者のニーズ調査・分析及び公園の整備方針等を策定する。 ・公園のあり方協議会の開催 ・公園整備方針（仮称）の策定

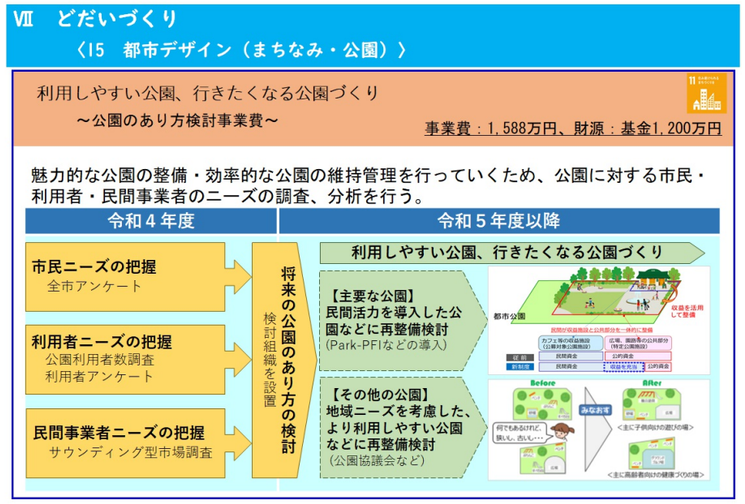
達成度

1	計画目標に向けて順調に推移

R4スケジュール

時期	実施内容	時期	実施内容

本事業に関する主要データ



【都市公園・普通公園・農山漁村公園の箇所数・面積の推移】（H30.4.1-R3.4.1）

種類	H30.4.1		H31.4.1		R2.4.1		R3.4.1		R3-H30増▲減	
	箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)
都市公園	153	214.78	153	214.78	153	214.78	155	214.93	2	0.15
普通公園	176	22.84	181	24.61	186	27.60	189	27.84	13	5.00
農山漁村公園	51	18.08	51	18.08	51	18.08	51	18.08	0	0.00
計	380	255.70	385	257.47	390	260.46	395	260.85	15	5.15

歳入・歳出の推移（単位：千円）

		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		500	15,878
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		12,000
	一般財源	500	3,878
歳入合計		500	15,878

共創の状況	

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
報償費	62		
委託料	15,816		
事業費計			15,878

課題

少子高齢化など様々な理由により、地域の公園に対するニーズが変化しており、市民・利用者・民間事業者のニーズをしっかり把握したうえで、今後の方針を策定する必要がある。

方向性

ニーズの調査・分析にあたってはきめ細やかに行い、地域ごと・年代ごと・公園ごとの違いを明らかにしていく。

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
総務部総務課	交通安全対策事業

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり			
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う			
	主要施策	交通安全対策事業			

事業の目的と目標

目的（何のために）

松江市交通安全対策会議を中心として、警察、各地区交通安全対策協議会等と連携し、市民に交通安全と交通事故防止を呼びかけることにより、「安心で安全なまちづくり」を実現する。

目標（何を達成するのか）

「日本一交通事故のない県都松江」の実現

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
交通事故発生件数（件）	301	210	200	140
交通事故の少ない県庁所在市順位（位）	2	1	1	1

	時期	実施内容	時期	実施内容
R4スケジュール	5月・6月	交通安全対策会議幹事会・総会	4月～	交通指導員による街頭指導
	8月頃	交通安全対策連絡協議会総会	4月・9月	自転車マナーアップ運動
	9月頃	松江市交通安全功労者表彰式	随時	交通安全地区教育指導員等による交通安全教室
	4月～	各地区交通安全対策協議会補助金による事業実施		

事業概要

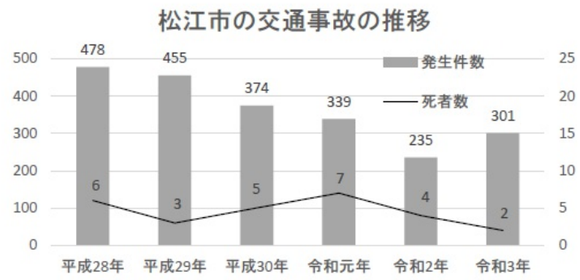
第11次松江市交通安全計画(R3～R7年度)に基づき施策を展開する。交通指導員、交通安全地区教育指導員等による地域住民への交通安全教育を実施し、地域ぐるみの交通安全対策を推進する。また、市内の事業所を「交通安全モデル事業所」に指定することで企業へも交通安全に対する意識づけを行い、交通事故防止のための取り組みを行う。

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
・第11次松江市交通安全計画(R3～R7年度)を策定した。 ・交通事故発生件数は、大幅に減少した令和2年と比較すると令和3年は+66件(+28.1%)と増加したが、長期的にみると減少傾向にある。	第11次松江市交通安全計画（R3～R7年度）に基づき施策を展開する。 ・交通指導員による街頭指導 ・交通安全地区教育指導員による各地区、学校等における交通安全教室の実施 ・自転車マナーアップ運動の実施 ・交通安全モデル事業所の選定による安全運転管理体制の強化 等	第11次松江市交通安全計画（R3～R7年度）に基づき施策を展開する。

達成度：2　計画目標に向かって概ね順調

本事業に関する主要データ



第11次松江市交通安全計画
令和3年度～令和7年度

計画目標
①交通事故発生件数　180件以下
②交通事故死者数　3人以下
③交通事故重傷者数　35人以下
④踏切道事故　0件

交通安全推進のための委嘱、指定

・交通指導員　111名（各地区2～7名）
S44年発足
・交通安全地区教育指導員　100名（各地区1～6名）
H8年発足
・交通安全モデル事業所　20事業所
H6年発足

（令和4年4月1日現在）

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		19,151	20,601
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	19,151	20,601
歳入合計		19,151	20,601

共創の状況	共催

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
報酬	2,508	負担金補助及び交付金	2,733
職員手当等	512		
共済費	499		
報償費	12,687		
旅費	92		
需用費	1,381		
役務費	189		
事業費計			20,601

課題

各地区交通安全対策協議会、交通指導員、交通安全地区教育指導員等に、地域における交通安全対策の中心的役割を長年担っていただいているが、高齢化も進み、次世代の担い手確保に苦慮している。

方向性

引き続き警察や、地域の要である交通安全対策協議会等と連絡しながら、取り組んでいく。

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会教育総務課	揖屋小学校整備事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり				
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う				
	主要施策	学校施設の長寿命化改良事業				

事業の目的と目標

目的（何のために）

児童の安全性の確保及び教育環境の改善を図る。

目標（何を達成するのか）

老朽化した揖屋小学校校舎・屋内運動場を改修する。

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
基本設計・実施設計　等進捗率（%）	10	100		100
屋内運動場　整備進捗率（%）			100	100
校舎等　整備進捗率（%）			10	100

事業概要

（数値目標の目標年度）
　基本設計・実施設計等：2022（R4）年度
　長寿命化改良工事：屋内運動場等2023（R5）年度、校舎等2024（R6）年度～
老朽化した揖屋小学校校舎・屋内運動場を長寿命化改良し、良好な教育環境を持続的に確保するもの。
令和3年度：調査・基本計画
令和4年度：調査・実施設計
令和5年度：長寿命化改良工事（屋内運動場）
令和6年度：長寿命化改良工事（校舎1期）
令和7年度：長寿命化改良工事（校舎2期）

事業計画

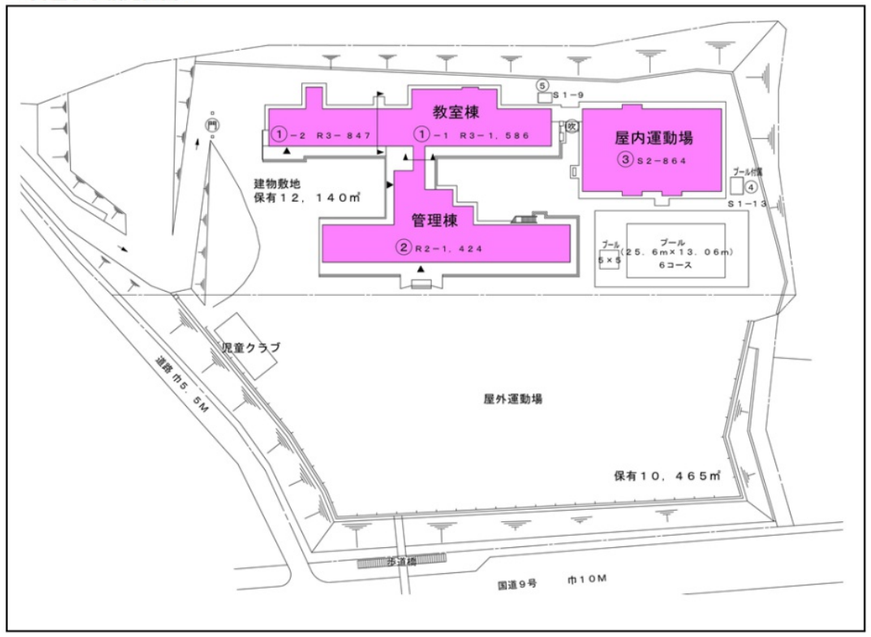
R3実績見込	R4計画	R5計画
・施設、使用実態の調査および基本計画の実施	・地質等の調査および・実施設計の実施	・屋内運動場の長寿命化改修工事および校舎の増築 ・法面対策工事の設計

達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	５月～３月	調査・実施設計		

本事業に関する主要データ

≪揖屋小学校配置図≫



≪主な工事内容≫

☆ 躯体耐久性の向上
　（コンクリート強度の健全化等）
☆ 屋上防水
☆ 外壁改修
☆ 電気設備の更新
☆ 機械設備の更新

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		9,460	54,088
財源内訳	国・県支出金	0	18,000
	地方債	0	35,700
	その他	0	
	一般財源	9,460	388
歳入合計		9,460	54,088

共創の状況	

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
委託料	54,088		
事業費計		54,088	

課題	方向性
長寿命化改良工事の前例が無いなか、老朽化の進行した施設の改修に加え、新しい時代の学びを視野に入れた機能強化、工事中の児童の安全確保と学習環境の維持を図る必要がある。	現地調査や工事内容、工事計画等について、庁内関係課及び学校との綿密な協議のもとで最適な方法により長寿命化を図る。

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会生涯学習課	公民館施設改修事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり			
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う			
	主要施策	公民館施設改修事業			

事業の目的と目標

目的（何のために）	数値目標				
公民館施設の適正な維持管理	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
	数値目標になじまない。				
目標（何を達成するのか）					
施設の状況に応じて、計画的に改修等を行う。					

事業概要

老朽化等に伴い、公民館の施設・設備等の改修を行うもの。

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
決算見込み額　16,929千円 ・朝酌公民館／空調改修工事 1,298千円 ・忌部公民館／屋上防水改修工事 7,062千円 ・古志原公民館／空調改修工事 3,520千円 ・大庭公民館／空調改修工事 3,157千円 ・持田公民館／空調改修工事 1,892千円 【財源内訳】 ・緊急防災・減災事業債 16,900千円 ・一般財源　29千円	予算額　44,174千円 ・城東公民館／空調改修工事 21,711千円 ・忌部公民館／空調改修工事 11,778千円 ・法吉公民館／屋上防水改修工事 5,745千円 ・公民館非常用照明修繕工事 4,940千円 【財源内訳】 ・緊急防災・減災事業債 38,400千円 ・公共施設等適正管理推進事業債（長寿命化） 5,100千円 ・一般財源　674千円	・城西公民館／空調改修工事 ・秋鹿公民館／空調改修工事 ・乃木公民館／屋上防水改修工事

達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	5月～11月	城東、忌部、美保関公民館　空調改修工事		
	5月～11月	法吉公民館　屋上防水改修工事		
	5月～11月	秋鹿公民館　便所改修工事		
	5月～2月	公民館非常用照明修繕工事		

本事業に関する主要データ

■S50年代
東出雲公民館/竹矢公民館/玉湯公民館（H27改修）/朝酌公民館/乃木公民館（H18改修）
美保関公民館/鹿島公民館（H27改修）/本庄公民館

■S60年代
大野公民館/忌部公民館/古志原公民館/秋鹿公民館

■H元年～10年
持田公民館/川津公民館/生馬公民館/八雲公民館（H25改修）/朝日公民館/城北公民館/八東公民館/（H29改修）

■H11年～20年
白潟公民館/法吉公民館/城東公民館/城西公民館/島根公民館

■H21年以降
雑賀公民館/津田公民館/大庭公民館/宍道公民館/古江公民館

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		16,929	44,174
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債	16,900	43,500
	その他		0
	一般財源	29	674
歳入合計		16,929	44,174

共創の状況	

課題

・建築後35年以上経過する公民館が7館あり、全体的に施設の老朽化が進行している。

方向性

・施設の状況を把握し、計画的に改修等を行う。

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
委託料	1,413		
工事請負費	42,761		
事業費計		44,174	

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会生涯学習課	公民館施設改修事業費（新型コロナウイルス対策事業）

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	公民館施設改修事業

事業の目的と目標

目的（何のために）	目標（何を達成するのか）
市内公民館の感染症対策レベルの均一化を図る	手洗い自動水栓化、大便器洋式化など感染症対策の実施

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
改修件数（館）	0	21	0	21

事業概要

公民館のトイレについて、新型コロナウイルス感染症対策として、スイッチの非接触化や大便器の飛散防止にかかる改修工事を行う。
※対象施設　21公民館（全29公民館のうち、整備済の公民館と、10年以内に施設の建て替え等を行う公民館を除いたもの）
※令和4年度単年度事業

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
	予算額 44,968千円 設計業務　4,088千円 改修工事費　40,880千円	

達成度

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月ー９月	設計業務		
	９月ー３月	改修工事		

本事業に関する主要データ

改修概要
①自動照明化（人感センサー）・・・スイッチへの非接触化【17館】
②手洗い自動水栓化（センサー付）・・・蛇口への非接触化【18館】
③小便器自動水栓化・・・水洗ボタンへの非接触化【15館】
④大便器洋式化・・・蓋の非接触化、飛散防止【11館】
【 】内の公民館数は重複あり。

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費			44,968
財源内訳	国・県支出金		44,968
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	0
歳入合計		0	44,968

共創の状況	

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
委託料	4,088		
工事請負費	40,880		
事業費計		44,968	

課題

公民館トイレの感染症対策（手洗いの自動水栓化や大便器の洋式化等）については、施設によって整備状況に差がある。

方向性

市内全公民館の感染症対策レベルの均一化を図るため、整備未実施の公民館について、手洗い自動水栓化や大便器洋式化など感染症対策にかかる改修工事を実施する。

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
教育委員会生涯学習課	竹矢公民館整備事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり			
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う			
	主要施策	竹矢公民館整備事業			

事業の目的と目標

目的（何のために）	数値目標				
計画的な公民館の施設整備・更新	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
	実施設計・建設工事　進捗率（%）	0	50	100	100
目標（何を達成するのか）					
竹矢公民館の建替え					

事業概要

・市内公民館で最も建築後の経過年数が長く、老朽化も進行している竹矢公民館を建て替えるもの。
・建設場所は現公民館の同一敷地内（南西側）とし、形態は平屋建てとする。

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
・竹矢公民館運営協議会と協議のうえ、竹矢公民館建設委員会を立ち上げた。 ・10/13に第1回竹矢公民館建設委員会を開催し、以下3点を承認いただいた。 (1)建設場所（＝現ゲートボール場） (2)形態（＝平屋建て） (3)概ねの面積（＝公民館の面積基準に基づき、現公民館の延べ床面積と同等とする）	・実施設計（基本設計含む）及び地盤調査　19,742千円 ・工事車両の搬入経路工事　1,276千円 【財源内訳】 電源立地地域対策交付金　17,000千円	・建築工事（R5年度末竣工）

達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～5月	実施設計等入札		
	6月～7月	工事車両の搬入経路工事		
	3月	実施設計等完了		

本事業に関する主要データ

○(現)竹矢公民館の概要

・建築年月　昭和54年3月

・構造等　鉄筋コンクリート2階建て

・延床面積　559㎡

・対象区域　矢田町(一部地域を除く)、竹矢町、馬潟町、八幡町、富士見町、青葉台

・利用者数　10,012人(R2年度)、22,032人(R元年度)、25,959人(H30年度)

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費			21,018
財源内訳	国・県支出金		17,000
	地方債		
	その他		0
	一般財源	0	4,018
歳入合計		0	21,018

共創の状況	

課題

現ゲートボール場代替地の確保

方向性

建設委員会で提示したスケジュール通りに事業を進める（R4年度：実施設計、R5年度：建築工事～竣工、R6年度：新公民館開設）

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	19,742		
工事請負費	1,276		
事業費計			21,018

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
消防本部消防総務課	現場指揮体制の構築

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	現場指導体制の構築

事業の目的と目標

目的（何のために）

令和3年4月に発生した島根町加賀の大規模火災の教訓から、災害現場の司令塔となる指揮機能をさらに強化する必要があるとの認識に至り、指揮隊の早期整備を図るもの。

目標（何を達成するのか）

指揮隊の整備により、迅速に災害実態を把握し、その情報に基づく対応を決定し、また、消防隊や消防団への指示伝達系統が強化されることで、災害の早期終息を図ることができる。

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
指揮隊要員（人）	0	0	4	8

事業概要

令和3年4月に発生した島根町加賀の大規模火災では、情報の収集、活動方針の決定と各隊への伝達、消防職員・団員の安全管理、広報活動などが困難であったことから、専属指揮隊の整備及び充実・強化に取り組む。

令和4年度は、北消防署警防隊に指揮担当職員を配置し指揮体制をスタートさせ、その後、職員採用による指揮隊要員の増員や研修による人材育成を図り、令和6年度中に専属指揮隊を整備します。

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
	北消防署警防隊に指揮担当職員を配置し、また、研修を通じ指揮隊要員の人材育成を図る。	北消防署に専属指揮隊4名を配置する。

達成度

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	４月	消防大学校指揮隊長コース	９月	消防吏員採用試験
	６月	U･Iターン者（消防経験者）採用試験	１０月	指揮隊先進地研修
	９月	消防大学校幹部科		
	９月	島根県消防学校部隊指揮研修		

本事業に関する主要データ

指揮隊設置に関する他都市の状況（アンケート結果）

○中核市　（本部数）

指揮隊あり	54
指揮隊なし	6

※90％が指揮隊を設置

○人口20～30万人・職員数200～400人の対象本部

指揮隊あり	49
指揮隊なし	6

※89％が指揮隊を設置

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費			
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	0
歳入合計		0	0

共創の状況	共創の手法になじまない

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
事業費計			0

課題

専属指揮隊を整備するためには、指揮隊要員の増員確保が必要である。

方向性

通常の消防吏員採用試験に加え、消防経験者を対象とした採用試験を新たに設けるなどし、指揮隊要員の確保を図る。

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
消防総務課	救急救命士の養成

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	救急救命士の育成強化（職員研修）

事業の目的と目標

目的（何のために）

救急救命士が救急車に常時乗車し、早期に救急救命処置を施すことが可能な体制を継続的に維持する必要がある。これにより、救急体制の充実、強化が図られ、救命率の向上を図ることが可能となる。

目標（何を達成するのか）

救急業務に従事する救急救命士を６０名確保するため、計画的に救急救命士を養成確保する。

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
年間救急救命士養成者数（人）	3	3	3	3

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	４月	救急救命士養成研修所　前期日程入校（約半年）		
	９月	救急救命士養成研修所　後期日程入校（約半年）		
	３月	救急救命士　国家試験		

事業概要

救急救命士を養成するために必要な「救急救命士養成課程研修」を職員に計画的に受講させ、救急救命士を養成する。

本事業に関する主要データ

■救急救命士とは

救急救命士とは、厚生労働大臣の免許を受け、傷病者が病院に到着するまでの間に症状の悪化を防ぎ、生命の危険を避けるために医師から具体的な指示を受けながら救急救命処置を実施する救急隊員である。

■救急救命士が実施できる救命処置とは

救急救命士は、医師から具体的な指示を受けて次の救急救命処置が実施できる。

・器具を使用した気道確保

・心肺停止状態の傷病者への点滴及び薬剤（アドレナリン）投与

・重度低血糖発作傷病者へのブドウ糖溶液の投与

・心肺停止前の重度傷病者（血圧が低下しているような傷病者）への点滴

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
救急救命士3名養成	救急救命士3名養成	救急救命士3名養成

達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		6,258	6,278
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	6,258	6,278
歳入合計		6,258	6,278

共創の状況	

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
事業費計			0

課題

救急救命士制度が発足し約30年が経過し、定年退職や管理職職員となる救急救命士数が出現していることから、継続的な救急救命士の養成確保が必用である。

方向性

救急業務に従事する救急救命士を６０名確保するために、計画的に救急救命士を養成する。

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部国県事業推進課	道路関係経費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり				
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う				
	主要施策	地方分散の重要基盤である道路ネットワークの整備促進				

事業の目的と目標

目的（何のために）	数値目標				
観光振興など地域経済の発展	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
	山陰自動車道の県内供用率（%）	66	66	72	84
目標（何を達成するのか）					
国道・県道の整備促進					

事業概要

国・県道の整備促進を図るため、沿線市町等で構成する期成同盟会に参加し、国・県に対し、要望活動を実施する。
（主な同盟会）
山陰自動車道（安来～益田）建設促進期成同盟会
国道432号（松江・安来間）改良促進期成同盟会
島根県東部高速道路利用促進協議会
境港出雲道路（松江北道路）建設促進期成同盟会
出雲・美保関間幹線道路整備促進期成同盟会　　ほか

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
○要望回数 ・中央、広島要望　１３回 （うち郵送等　３回） ・県要望　１４回 （うち郵送等　２回）	○要望回数 ・中央、広島要望　１６回 ・県要望　１３回	○要望回数 ・中央、広島要望　１６回 ・県要望　１３回

達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

R4スケジュール

時期	実施内容	時期	実施内容
通年	期成同盟会総会等		
通年	期成同盟会要望活動等		

本事業に関する主要データ

令和4年度期成同盟会・協議会等一覧表

No.	期成同盟会・協議会等名	会　員	会長	市長役職	事務局	R3年度負担金 予算	R3年度負担金 決算	R3年度負担金 積算内訳	R4年度負担金 予算	R4年度負担金 積算内訳	要望先	設立年度
1	**島根県東部高速道路利用促進協議会**	松江市・出雲市・安来市・雲南市・奥出雲町・島根県・島根県商工会議所連合会・島根県商工会連合会・島根県中小企業団体中央会・島根経済同友会・島根県農業協同組合中央会・漁業協同組合ぶしまね・島根県観光連盟・島根県連合婦人会 （特別会員　国土交通省・西日本高速道路㈱）	**松江市長**	**会長**	**松江市**	306,000円	306,000円	松江市 均等割54,000円 人口割198,000円 IC割54,000円	307,000円	松江市 均等割54,000円 人口割199,000円 IC割54,000円	国交省 財務省 国会議員 ネクスコ西日本	H14
2	**境港出雲道路(松江北道路)建設促進期成同盟会**	松江市・松江市議会・松江商工会議所・まつえ北商工会・まつえ南商工会・東出雲町商工会・島根県農業協同組合くにびき地区本部・松江観光業協会・島根県トラック協会・島根県旅客自動車協会・神山団中央新報社・島根経済同友会・松江青年会議所・島根県物産協会・松江旅館ホテル組合	**松江市長**	**会長**	**松江市**	150,000円	150,000円	松江市150,000円 松江商工会議所30,000円 その他会員10,000円	150,000円	松江市150,000円 松江商工会議所30,000円 その他会員10,000円	国交省 国会議員 県	H24
3	**国道432号(松江・安来間)改良促進期成同盟会**	松江市・安来市・各市議長・担当委員長 （顧問　各選挙区県議）	**松江市長**	**会長**	**松江市**	150,000円	150,000円	松江市150,000円 安来市150,000円	150,000円	松江市150,000円 安来市150,000円	国交省 財務省 国会議員	S56
4	**国道432号(大庭バイパス)建設促進協議会**	松江市・大庭地区自治協会・大庭地区交通対策協議会　（顧問　三島進市議）	**松江市長**	**会長**	**松江市・大庭公民館**	負担金なし	負担金なし	—	負担金なし	—	県	H15
5	**国道432号改良促進期成同盟会** ※松江・竹原間	庄原市・松江市・安来市・奥出雲町・府中市・世羅町・三原市・東広島市・竹原市・各市町議長 （顧問　各選挙区県議）	庄原市長	副会長	庄原市	155,000円	155,000円	松江市 均等割5,000円 延長割7,400円 事業割142,600円	145,200円	松江市 均等割5,000円 延長割7,400円 事業割132,800円	国交省 財務省 国会議員	S56
6	**山陰自動車道(安来～益田)建設促進期成同盟会**	大田市・松江市・浜田市・出雲市・益田市・江津市・安来市・各市議会・島根県商工会連合会・島根県商工会議所連合会　（顧問　島根県議）	大田市長	副会長	大田市	464,000円	464,000円	松江市 均等割88,000円 人口割376,000円	468,000円	松江市 均等割88,000円 人口割380,000円	国交省 財務省 国会議員	S61
7	**出雲・美保関間幹線道路整備促進期成同盟会** ※国道431号、境港出雲道路	出雲市・松江市・出雲市議会・松江市議会・松江商工会議所・出雲商工会議所・平田商工会議所・まつえ北商工会・まつえ南商工会・東出雲町商工会・出雲商工会・斐川町商工会・島根県農業協同組合くにびき・出雲・東川各地区本部）（顧問　松江、出雲選挙区県議）	出雲市長	副会長	出雲市	90,000円	90,000円	松江市90,000円 出雲市90,000円	90,000円	松江市90,000円 出雲市90,000円	県	S63
8	**松江安来新見間国道昇格期成同盟会** ※安来伯太日南縁、新見日南線	安来市・松江市・新見市・日南町・各市町議長 （顧問　安来・新見・日野選挙区県議） （参与　広島土木事業所長・日野県土整備局長・備中県民局地域振興部長）	安来市長	理事	安来市	35,000円	17,500円	市：17,500円 町：12,500円	17,500円	市：17,500円 町：12,500円	島根県 鳥取県 岡山県	SSO
9	**松江・安来・雲南圏域幹線道路改良整備促進期成同盟会** ※松江木次線・安来木次線・大東東出雲線	雲南市・松江市・安来市・奥出雲町・各市町議長 （顧問　各選挙区県議）	雲南市長	副会長	雲南市	30,000円	12,000円	松江市 均等割2,000円 延長割12,000円	12,000円	松江市 均等割2,000円 延長割12,000円	県	H18組織再編3同盟会合併
10	**主要地方道玉湯吾妻山線改修促進期成同盟会**	奥出雲町・松江市・雲南市・各市町議長 （顧問　各選挙区県議）	奥出雲町長	副会長	奥出雲町	21,000円	8,000円	松江市 均等割4,000円 延長割4,000円	8,000円	松江市 均等割4,000円 延長割4,000円	県	S47
11	**中国国道協会**	中国地方99市町村	雲南市長	会員	雲南市	60,000円	10,000円	市：10,000円 町村：5,000円	60,000円	市：60,000円 町村：30,000円	国交省 財務省 国会議員	H2
	合　計					1,481,000円	1,362,500円	—	1,407,700円	—	—	—

◆賛助会員

広島空港北アクセス道路 （広島中央フライトロード）推進協議会	世羅町・三原市・府中市・三次市・庄原市・安芸高田市・各市町議長 （顧問　各選挙区県議） （賛助会員（R1～）　松江市・出雲市・大田市・安来市・雲南市・奥出雲町・飯南町・川本町・美郷町・邑南町）	世羅町長	賛助会員	世羅町	負担金なし	負担金なし	—	負担金なし	—	国交省 財務省 国会議員 広島県議会	H4

共創の状況	その他（協力、連携など）

歳入・歳出の推移(単位：千円)

		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		1,628	2,141
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	1,628	2,141
歳入合計		1,628	2,141

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
旅費	600		
需用費	12		
役務費	24		
使用料及び賃借料	48		
負担金補助及び交付金	1,457		
事業費計		2,141	

課題

国・県ともに財政的に厳しい状況の中、道路事業予算全体は減少してきている。そのような中で、地域として考える道路整備の必要性や地域の実情を、国・県の担当部局に理解してもらい、必要な予算を確保し、道路整備事業に反映させていく必要がある。

方向性

関連自治体や経済界とともに同盟会を組織し、地域の思いを要望書としてまとめ、国（国土交通省本省、中国地方整備局）・県（本庁、松江県土整備事務所ほか）の担当部局に伝え、松江市における国営・県営事業の予算化を実現する。

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部道路課	道路愛護団経費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり				
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う				
	主要施策	道路維持管理				

事業の目的と目標

目的（何のために）

住民自らが住みやすい生活環境を保全するよう努めることを目的に、松江市の管理する道路の環境美化活動（道路除草、側溝清掃等）を行う団体を支援するもの。

目標（何を達成するのか）

住民自らが道路の環境美化活動（道路除草、側溝清掃等）を行うことにより、道路の環境美化の達成と活動により地域コミュニティを図れる。

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
道路愛護団登録数（一般）	261	265	270	280

事業概要

市民団体が行う市道等の道路美化、沿道草刈、側溝清掃に対して市が委託料を支出するもの

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
道路愛護団登録数（一般）　261団体	道路愛護団登録数（一般）265団体	道路愛護団登録数（一般）270団体

達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

時期	実施内容	時期	実施内容
4月	実施計画書提出		
随時	契約、作業実施、支払い		

本事業に関する主要データ

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		13,904	15,017
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	13,904	15,017
歳入合計		13,904	15,017

共創の状況	委託

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
役務費	241		
委託料	14,776		
事業費計			15,017

課題

近年、高齢化により作業実施が困難になってきている団体があり、登録抹消する団体もある。今後も高齢化は進むことより、さらに抹消する団体が増える懸念がある。

方向性

登録している団体に引き続きの登録を呼びかけるとともに、新規団体へのＰＲを推進し、登録団体数の増加を目指す。

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部河川課	河川浄化事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	河川浄化事業

事業の目的と目標

目的（何のために）

河川環境保全活動の一環として、地域住民・地元企業等による河川愛護団活動を行うことにより、河川愛護精神の高揚を図り、住民自らが住み良い生活環境の保全に努めることを目的とする。

目標（何を達成するのか）

河川愛護団登録団体数の増加

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
愛護団登録団体数	154	162	163	169

事業概要

河川愛護団を中心とした市内河川の堤防除草作業等河川環境保全業務を行う。なお、市内県管理河川の環境保全にかかる経費については、島根県との協働により１／２の県単独補助がなされる。

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
愛護団登録団体数：154団体	愛護団登録団体数：162団体	愛護団登録団体数：163団体

達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		36,059	44,344
財源内訳	国・県支出金	18,890	23,169
	地方債		
	その他		
	一般財源	17,169	21,175
歳入合計		36,059	44,344

課題	河川愛護団 ・愛護団構成員の高齢化による人員の減少及び活動の中止・縮小が懸念される。	方向性	河川愛護団 ・河川沿線自治会、地域ボランティア団体などへの愛護団登録を積極的に行っていく。

	時期	実施内容	時期	実施内容
R4スケジュール	4月	実施計画の提出		
	5月～12月	河川堤防除草作業		

本事業に関する主要データ

一般愛護団（玉湯川）

企業愛護団（北田川）

一般愛護団（東生馬川）

企業愛護団（朝酌川）

共創の状況	

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
需用費	980		
役務費	2,058		
委託料	40,737		
備品購入費	569		
事業費計			44,344

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部道路課	通学路緊急対策事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	安心・安全歩行空間創造事業（社会資本整備総合交付金）

事業の目的と目標

目的（何のために）

歩道新設を含めた拡幅改良を行い、安全な通学路を確保する。

目標（何を達成するのか）

整備延長1,200m（幅員9.25m）

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
整備延長（m）	0	40	60	1,200
累計整備延長（m）	0	40	100	1,200

事業概要

京都･亀岡市での凄惨な通学路事故等を受け、教育委員会･防災安全部･道路管理者(国･県･市)･警察･学校･地元が一同に会して実施した合同点検の結果、対策が必要と判断した箇所の緊急対策を行う。
対象交付金：防災・安全社会資本整備交付金（パッケージ１１）対象路線　：市道役場深原線

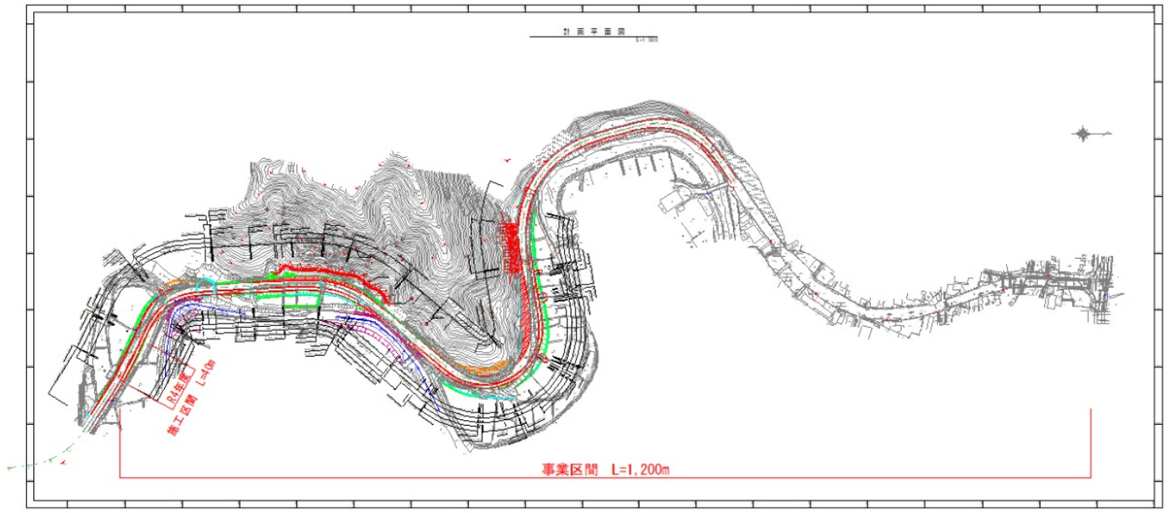
事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
測量調査設計　L=560m	改良工事　L=40m	改良工事　L=60m

達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	4月～5月	交付申請		
	10月～3月	道路改良工事		

本事業に関する主要データ



歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		27,835	8,000
財源内訳	国・県支出金	15,309	4,400
	地方債	11,200	3,200
	その他		0
	一般財源	1,326	400
歳入合計		27,835	8,000

共創の状況	共創の手法になじまない

課題

本路線と並行して流れている一級河川桑並川への、拡幅に伴う張り出し歩道等の占用が生じる。

方向性

河川管理者である島根県と協議により調整を図り事業を進める。

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
工事請負費	8,000		
事業費計		8,000	

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部道路課	自転車ネットワーク道路整備事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり			
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う			
	主要施策	安心・安全歩行空間創造事業（社会資本整備総合交付金）			

事業の目的と目標

目的（何のために）

第5次歩道整備計画に基づく自転車ネットワーク道路整備を行い、歩行者・自転車双方の安全を確保する。あわせて、環境配慮や渋滞緩和を目的として自転車利用を推進する。

目標（何を達成するのか）

菅田比津線　整備延長(2,000m・両側)他６線の自転車通行帯整備
計画総延長３５．５km

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
整備済延長(ｋｍ)	12.8	13.0	13.1	35.5
整備率（%）	36.1	36.6	36.9	100

事業概要

（数値目標の目標年度）
自転車道整備事業94.3%：2029(R11)年度

自転車ネットワーク計画に基づき、未整備路線に自転車の通行環境整備を行う。通行量の多い路線について、自転車通行帯を分離し、自転車及び歩行者の安全確保と自転車利用を推進する。

時期	実施内容	時期	実施内容
4月	交付申請・交付決定		
7月～2月	自転車通行帯工事		

R4スケジュール

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
菅田比津線 自転車通行帯工事437m(両側)	菅田比津線 自転車通行帯工事200m(両側)	菅田比津線 自転車通行帯工事200m(両側)

達成度
2　計画目標に向かって概ね順調

本事業に関する主要データ

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		60,504	30,000
財源内訳	国・県支出金	33,277	16,500
	地方債	24,400	12,100
	その他	2,144	0
	一般財源	683	1,400
歳入合計		60,504	30,000

共創の状況	共創の手法になじまない

課題

城下町特有の狭い街路によって整備が進めづらいうえ、歩行者や自転車など多様な利用における使い勝手の悪さや景観上の問題などがある。また、狭い現道上での工事となるため制約も多く割高な工事となっていることから、限られた予算の中で整備延長を延ばすことが困難。

方向性

補助制度を活用して財源を確保し、自転車ネットワーク道路の未整備区間の整備を進めると共に、中心市街地での自転車移動の回遊性を高め、自転車の安全な通行区間を整備する。

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
工事請負費	30,000		
事業費計		30,000	

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
都市整備部建設総務課	子どもたちを守る交通安全対策事業費（補助、単独）

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	安心・安全歩行空間創造事業（社会資本整備総合交付金）

事業の目的と目標

目的（何のために）

道路管理者として、通学路及び未就学児が日常的に移動する経路で危険が認められる箇所の対策工事を実施し、通学生徒及び未就学児が安全に通学・移動できる道路交通環境の整備を行うもの。

目標（何を達成するのか）

危険箇所の改良整備による通学路及び未就学児の移動経路の安全確保

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
整備箇所数（未就学児移動経路）（箇所）	19	1	0	74
整備箇所数（歩道整備計画路線）（箇所）	3	4	3	3
整備箇所数（通学路・交安施設）（箇所）	56	100	100	56

事業概要

通学路及び未就学児が日常的に移動する経路の交通安全を確保するため、関係機関との危険箇所の抽出・点検・対策検討を行い、交通安全対策が必要な箇所について対策工事を実施し、安全の確保に向けた道路交通環境の改善を図る。
【対策必要箇所の整備】
・未就学児移動経路
　〇交通安全対策事業　全74箇所（（R1）大津市での未就学児が巻き込まれる事故がきっかけ）
・通学路
　〇歩道整備計画路線　〇要望に基づく対策
・交通安全施設
　〇要望に基づく対策

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
【未就学児移動経路】 〇交通安全対策事業　19箇所 【歩道整備計画路線(3箇所)継続】 〇西持田大田線 測量・調査・設計業務委託、道路改良工事 〇新町・須田線 測量・調査・設計業務委託 〇工業高校東1号線 道路改良工事 【通学路】 〇要望箇所対策　10箇所 【交通安全施設】 〇要望箇所対策　46箇所	【未就学児移動経路】 〇交通安全対策事業　1箇所 【歩道整備計画路線(4箇所)継続3箇所、新規1箇所】 〇西持田大田線　橋梁下部工事 〇新町・須田線　用地取得・物件補償 〇工業高校東1号線　道路改良工事 〇ハサラ沼5号線　測量調査設計業務委託 【通学路】 〇要望箇所対策　50箇所程度 【交通安全施設】 〇要望箇所対策　50箇所程度	【歩道整備計画路線(3箇所)継続】 〇新町・須田線　工事 〇工業高校東1号線　工事 〇ハサラ沼5号線　工事 【通学路】 〇要望箇所対策　50箇所程度 【交通安全施設】 〇要望箇所対策　50箇所程度

達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		212,593	125,872
財源内訳	国・県支出金	104,970	58,229
	地方債	81,747	51,800
	その他	0	0
	一般財源	25,876	15,843
歳入合計		212,593	125,872

課題

〇対策が必要な箇所が多いため、予算内で優先順位をつけて対策を行う必要がある。
〇年々事業費の確保が困難化しており、各要望の積み残しも多数ある。

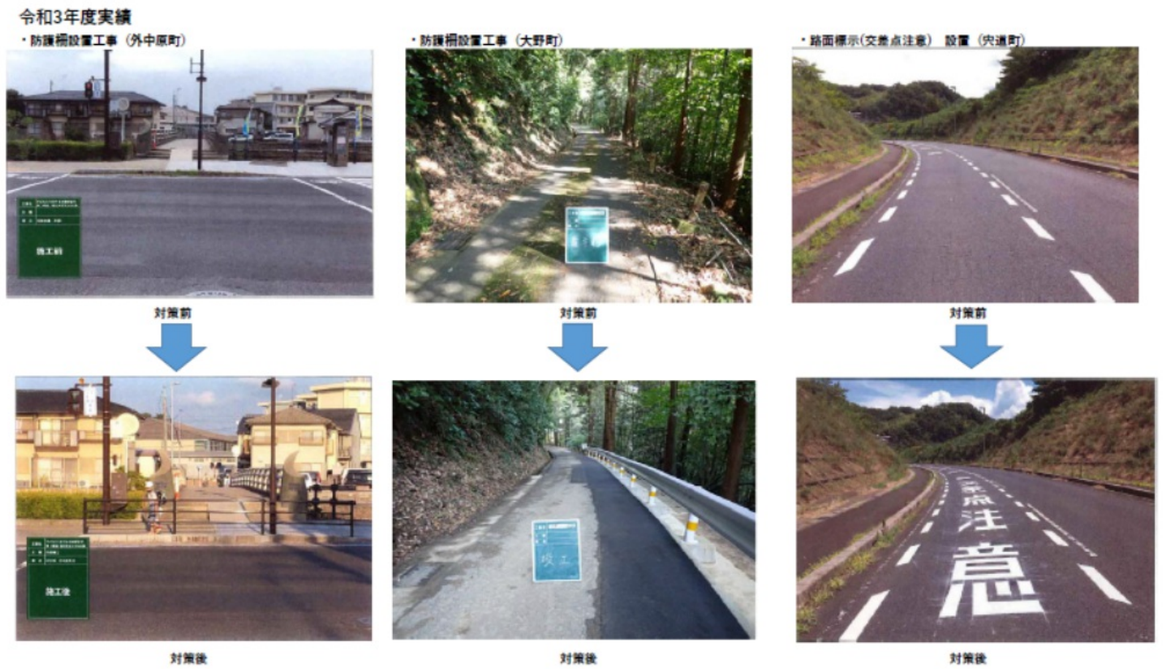
方向性

〇抽出された箇所の危険度や重要度を検討しながら対策を実施する。
〇未就学児移動経路対策についてはR2～R4の3ヶ年で対策を実施する。

R4スケジュール

時期	実施内容	時期	実施内容
通年	要望箇所の交通安全対策工事	10月～3月	用地取得、物件補償
通年	測量・調査・設計業務委託	2月～3月	各要望書の回答
4～7月	各小・中学校、交通安全協議会からの要望書提出		
8月～2月	各要望箇所の現地確認及び評価		

本事業に関する主要データ



共創の状況	共創の手法になじまない

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
委託料	10,000		
工事請負費	101,000		
公有財産購入費	4,872		
補償補填及び賠償金	10,000		
事業費計		125,872	

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
健康福祉部健康福祉総務課	要配慮者支援推進事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり			
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う			
	主要施策	要配慮者支援推進事業			

事業の目的と目標

目的（何のために）

要配慮者（高齢者や障がいのある方など）が、住み慣れた地域で、いつまでも安心・安全に暮らしていくために、平常時から地域での「共助」の支え合いの仕組みを作ること（要配慮者支援組織の設置）を目的とするもの。

目標（何を達成するのか）

令和5年度に世帯カバー率70%を目標とする。

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
世帯カバー率（%）（※1）	42	56	70	70.0

事業概要

要配慮者（高齢者や障がいのある方など）が、住み慣れた地域で、いつまでも安心・安全に暮らしていけるよう、地域コミュニティ（共助）を活用した平常時及び災害時の支援体制を構築することを目的に、各地域の実情に応じた要配慮者支援組織の立ち上げを推進している。その支援組織の立ち上げ並びに運営について補助を行うもの。

〇これまでの経過　平成23年度から要配慮者支援組織の設置を推進してきている。
平成28年度には、災害対策基本法に基づき、避難行動要支援者（※2）名簿を作成し、平成29年度には、平常時から名簿情報の提供について同意のあった避難行動要支援者名簿を避難支援等関係者（※3）が地域内の配慮者の把握に活用できるよう提供を開始した。
（※1）　世帯カバー率：組織の活動範囲に含まれる世帯数／住基世帯数

（数値目標の目標年度）
要配慮者支援組織世帯カバー率：2029（R11）年度

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
令和3年度　世帯ｶﾊﾞｰ率42% 新規設置組織数　　9組織 累計設置組織数　　210組織	令和4年度　世帯ｶﾊﾞｰ率56%	令和5年度　世帯ｶﾊﾞｰ率70%

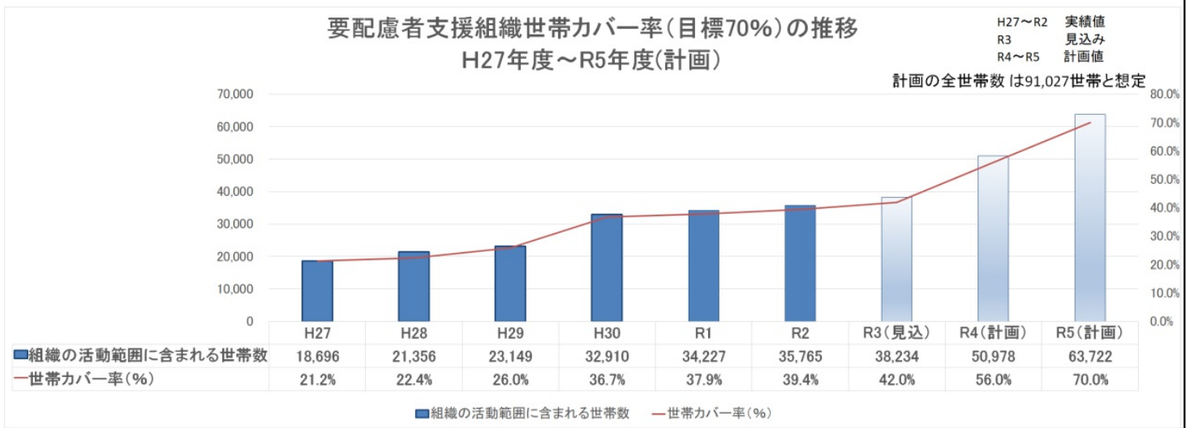
達成度

3　計画目標に向けて進捗はやや遅れている

R4スケジュール

時期	実施内容	時期	実施内容
通年	組織拡大の取り組み（説明会等の開催）		

本事業に関する主要データ



〇要配慮者支援組織への補助内容
①要配慮者支援組織設立時に10万円を上限に補助
（要配慮者支援組織設置推進事業補助金）

②毎年の活動に対し、対象世帯に応じて、
10万円を上限に補助
（要配慮者支援推進事業補助金）

構成世帯数	補助上限額
50世帯以下	30,000円
51世帯～100世帯以下	40,000円
101世帯～150世帯以下	60,000円
151世帯～200世帯以下	80,000円
201世帯以上	100,000円

※2　避難行動要支援者　：　災害発生時に自力で避難することが困難な高齢者や障がい者など
①75歳以上のひとり暮らし高齢者又は75歳以上の高齢者のみ世帯に属する人
②療育手帳（A.B）の交付を受けている人
③身体障がい者手帳の交付を受けている人
④精神障がい者福祉手帳1級または2級の交付を受けている人
⑤要介護認定3～5を受けている人
⑥その他、市長が特に必要と認めた人
⑦従来からの制度（災害時要援護者避難支援登録制度）の登録者

※3　避難支援等関係者　：　避難行動要支援者の情報提供を行い、安否確認等の避難支援に携わる関係者
①消防機関
②警察機関
③民生児童委員
④町内会・自治会
⑤社会福祉協議会・地区社会福祉協議会
⑥自主防災組織及び要配慮者支援組織

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		10,239	13,324
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他	1,367	1,237
	一般財源	8,872	12,087
歳入合計		10,239	13,324

共創の状況	補助・助成

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
役務費	73		
負担金補助及び交付金	13,251		
事業費計		13,324	

課題

・地域によって組織設置の状況が異なるため、設置が進んでいない地域に対し、より積極的に事業推進を図る必要がある。

方向性

・自治会や自主防災組織など地域にある住民組織の役割も踏まえて、要配慮者支援組織の目的や役割を丁寧に説明する必要があることから、引き続き、市民部・防災部・健康福祉部の3部が連携して、地域におけるより実効性のある共助・支え合いの体制づくりを進める。
・引き続き公民館単位での組織化の提案等、地域の実情に応じた働きかけをしていく。

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
防災部防災危機管理課	自主防災組織育成費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う
	主要施策	

事業の目的と目標

目的（何のために）

自主防災組織の結成を促進する。（共助）

目標（何を達成するのか）

松江市自主防災委員会が住民に対し「災害に備える」意識を啓発し、住民が地域で支え助け合う共助の重要性を理解・認識することで、地域の防災活動への参加につなげる。

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
自主防災組織結成率（%）	74.0	75.0	80.0	100

事業概要

松江市の自主防災組織の連合体である「松江市自主防災委員会」（※）へ自主防災組織の育成や強化などの活動をしていただくために補助金を交付し、活動を支援するとともに、自主防災組織未結成地区に対しての出前講座や、自治会加入を促す説明会等において自主防災組織の必要性を説明する。

※公民館２９地区から各１名選任された自主防災組織の代表者で構成する組織

事業計画

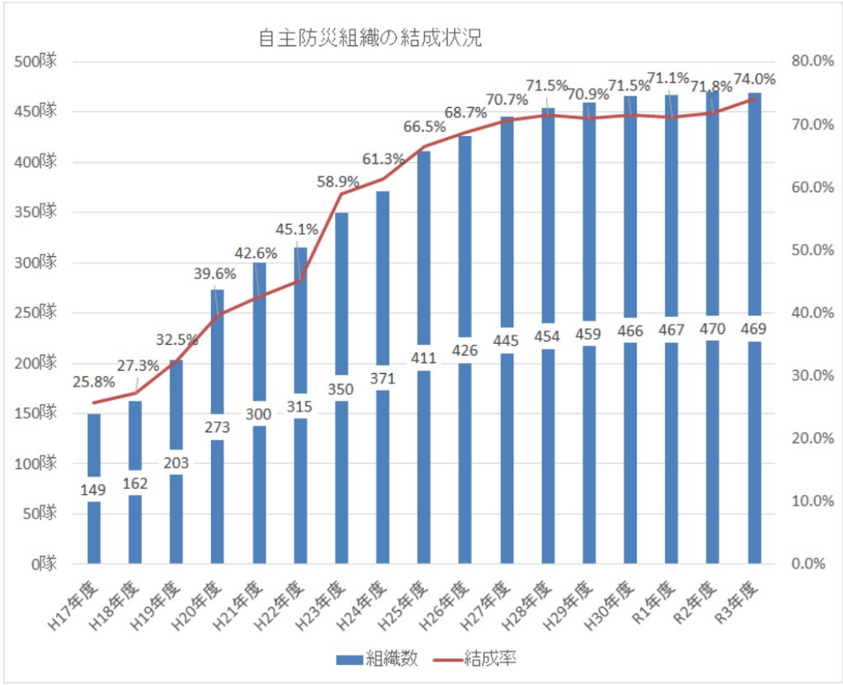
R3実績見込	R4計画	R5計画
・自主防災組織結成の増減：１隊減 ・自主防災組織数：４６９隊 ・自主防災組織結成率：７４．０％	・自主防災組織結成の増減：８隊増 ・自主防災組織数：４７８隊 ・自主防災組織結成率：７５．０％ ・自主防災組織隊長、松江市地域防災指導員及び防災士向けの研修会の実施 ・防災意識啓発用資機材の購入等への補助	・自主防災組織結成の増減：４４隊増 ・自主防災組織数：５２２隊 ・自主防災組織結成率：８０．０％ ・自主防災組織隊長、松江市地域防災指導員及び防災士向けの研修会の実施 ・防災意識啓発用資機材の購入等への補助

達成度

3　計画目標に向けて進捗はやや遅れている

	時期	実施内容	時期	実施内容
R4スケジュール	４月	補助金交付決定		
	５～６月	補助金交付		
	３～４月	補助金の実績による補助金確定通知の交付		
	未定	松江市地域防災指導員及び防災士向け研修会		

本事業に関する主要データ



歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		500	527
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	500	527
歳入合計		500	527

共創の状況	補助・助成

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
報償費	27		
負担金補助及び交付金	500		
事業費計		527	

課題

・自治会単位で結成されている自主防災組織においては、自治会長が隊長を兼ねていることが多く、単年度毎で会（隊）長が交代することにより、組織内での防災意識の醸成や防災活動の継続が難しい状況にある。
・活動実績のない自主防災組織に対して活動を促す働きかけが必要である。
・自主防災組織未結成地区の居住者や自治会未加入者について、災害への備えや防災意識向上など自助、共助の働きかけを検討していく必要がある。

方向性

・防災意識の向上や防災活動が継続することを目的に、各自主防災組織に対し、定期的な防災研修の開催や、防災意識向上につながる広報活動・情報提供を実施する。
・自主防災組織未結成地区に対しての出前講座や、自治会加入を促す説明会等において自主防災組織の必要性を説明する。

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
防災部防災危機管理課	防災出前講座実施事業

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり			
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う			
	主要施策				

事業の目的と目標

目的（何のために）

地域防災力の強化を図る。（自助）

目標（何を達成するのか）

市民等の団体が主催する会に、市職員を講師として派遣する出前講座を実施することにより、「自らの命は自分で守る」という災害への備えの大切さや、身を守るために必要となる知識・情報を共有する。

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
防災出前講座の実施（回）	60	50	65	100

事業概要

松江市地域防災計画に基づき、市民に対し、「自らの命は自分で守る」という意識の徹底や、地域の災害リスクと取るべき避難行動など、市民の防災意識を高め、家庭や職場、学校における地域の防災行動力を向上させるため、出前講座を実施する。
特に、マイ・タイムラインの作成や非常持出品について積極的に周知する。

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
出前講座実施回数：６０回	出前講座実施回数：５０回	出前講座実施回数：６５回

達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

時期	実施内容	時期	実施内容
随時	出前講座の実施		

R4スケジュール

本事業に関する主要データ

	H28	H29	H30	R1	R2	R3
実施回数(回)	62	80	126	76	31	60
延べ参加者人数(人)	2,062	3,061	4,419	2,576	1,011	1,895

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		0	0
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	0
歳入合計		0	0

共創の状況	共創の手法になじまない

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
事業費計		0	

課題

新型コロナウイルス感染症の影響により、出前講座の中止が増加しており、市民への防災啓発の場が減少している。
参加者の年齢層に偏りが生じている。

方向性

ホームページや広報誌を通じ、出前講座の周知を図る。
学校への出前授業を実施し、若年層の防災意識向上を図る。

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
防災部防災危機管理課	総合防災センター整備事業

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり				
	基本施策	「何があっても松江は大丈夫！」って思う				
	主要施策					

事業の目的と目標

目的（何のために）	数値目標				
災害への迅速な対応や防災教育の場としての防災拠点の強化を図るもの。	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
	成果指標になじまない				
目標（何を達成するのか）					
災害対策本部の機能として、オペレーションシステムを整備する。システムを一元化し、災害発生時における迅速な応急対策の実施及び円滑な災害復旧を図り、災害による市民生活への影響を最小限に抑える。					

事業概要

防災行政無線や、河川監視カメラ・津波監視カメラ・災害情報共有システムなど既存の機器・システムと連携し、統括管理する機能を「総合防災センター」と位置づけ、災害対応を適切に行うことを目的として整備する。
構築イメージとして、関係機関との連携を強化するため、既存の機器・システム更新時期に合わせて、それぞれの機能が将来的にリンクできるよう、互換性を持たせることを検討する。
災害時には、災害関連情報を統合し災害発生を予測し、的確な避難情報の発令を行うことにより、市民の迅速な避難行動につなげる。また、平時は市民への防災教育の場とすることにより、総合的な防災施策の推進を行うことができる。

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
	導入機器等基本仕様決定	導入機器等詳細仕様決定

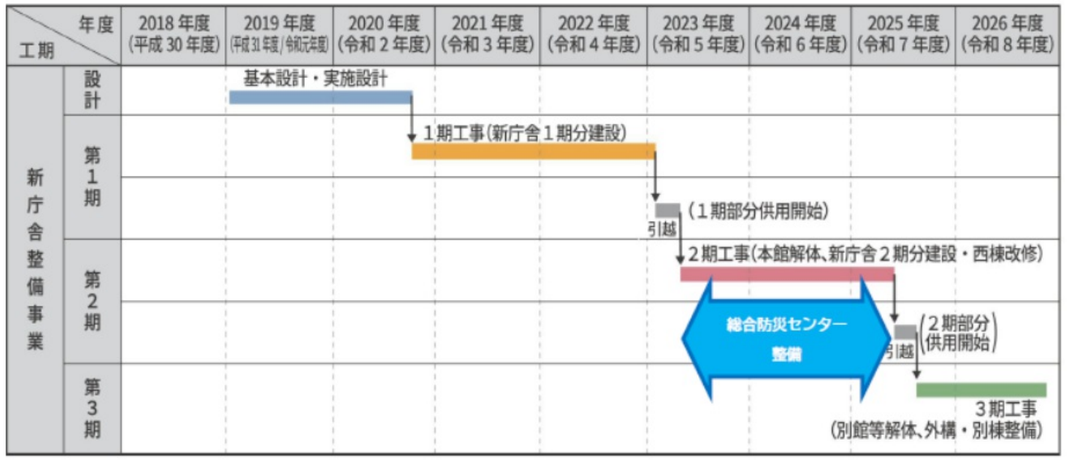
達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

R4スケジュール	時期	実施内容	時期	実施内容
	6～3月	基本仕様の検討		

本事業に関する主要データ

【総合防災センター整備スケジュール】

新庁舎整備２期工事期間中に整備する。



歳入・歳出の推移（単位：千円）		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費			
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	0
歳入合計		0	0

共創の状況	共創の手法になじまない

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
事業費計		0	

課題	方向性
・災害対策本部として意思決定を図るために、効果的な情報収集・情報共有機能を有するよう仕様を検討したい。 ・新庁舎整備のスケジュールと整合性を取りながら進める必要がある。	・災害時に誰でも利用できるよう、操作しやすいシステム整備を検討したい。

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
総務部人事課	人材確保対策費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる
	主要施策	職員採用プロモーション事業

事業の目的と目標

目的（何のために）

・志が高く優秀な職員を安定的に確保する

目標（何を達成するのか）

松江市職員採用試験の申込者数及び受験者数の増加

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
職員採用試験WEBページの閲覧数（件）	34,637	38,000	40,000	46,000

事業概要

（数値目標の目標年度）
職員採用試験情報掲載WEBページの閲覧数（件）：2029(R11)年度

・職員採用専用WEBサイトのコンテンツの拡充及び広報活動により、主に県外在住学生に対し、松江市役所の魅力を発信し、採用試験受験に結びつけるため、近隣大学等での採用説明会などのプロモーション活動を実施する。
・確保が困難な専門職（獣医師、薬剤師など）の採用に特化した、プロモーション活動を行う。

事業計画

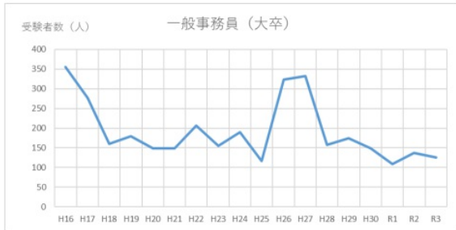
R3実績見込	R4計画	R5計画
・職員採用専用WEBページ_制作、メイン動画作成 ・職員採用試験説明会プレガイダンスの開催 ・インターンシップ_全６回（のべ32名）	・職員採用専用WEBページ_追加コンテンツ掲載、専門職用動画作成 ・専門職用採用パンフレット制作 ・近隣大学等訪問ガイダンスへの参加 ・職員採用試験説明会の開催 ・インターンシップの実施	・職員採用専用WEBページ_追加コンテンツ掲載 ・近隣大学等訪問ガイダンスへの参加 ・職員採用試験説明会の開催 ・インターンシップの実施

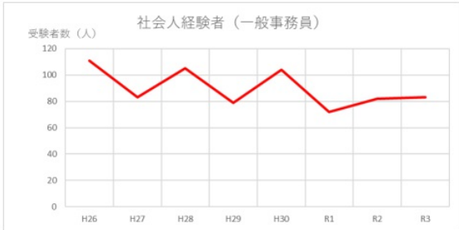
達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

	時期	実施内容	時期	実施内容
R4スケジュール	４月	職員採用試験説明会の開催	4～12月	専門職用動画作成
	4～5月	近隣大学等訪問ガイダンスへの参加	８～２月	インターンシップの実施
	4～10月	専門職用採用パンフレット制作	11～3月	近隣大学等訪問ガイダンスへの参加
	4～12月	職員採用専用WEBページ＿追加コンテンツ掲載		

本事業に関する主要データ

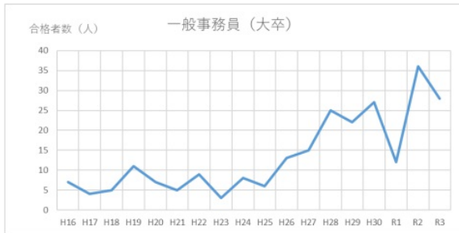
受験者数の推移

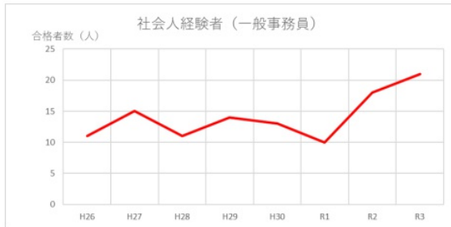




※一般事務員（大卒）はH28から島根県と同一試験日に実施

合格者数の推移





歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費			1,942
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	1,942
歳入合計		0	1,942

共創の状況	共創の手法になじまない

課題

公務員志望者数は全国的に見ても平成23年度をピークに減少傾向にあり、少子高齢化の中、人材確保が困難になってきている。
松江市においても全国同様、受験者数の減少傾向が続く一方で、多様な行政需要に対応するため合格者数は増加傾向である。志が高く優秀な人材を確保するためには、より多くの受験者の中から良い人材を見極めることが必要である。
　≪松江市　一般事務員（大卒程度）≫
H27受験者数332人（合格者数15人）　→　R3受験者数126人（合格者数28人）

方向性

受験希望者向けに採用専用サイトの更なる充実を図り、仕事内容、職場環境、先輩職員の声、福利厚生など、働くことに関連するコンテンツを中心に発信し応募を促進する。
また、中核市への移行後、市民生活に直結する業務を幅広く本市で担うことが可能になった一方で、業務の遂行に必要である多様な専門職の採用には苦慮している。専門職の魅力を発信し松江市への受験者を増やすため、専門職向けの採用PR動画やパンフレットを制作する。

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
旅費	311		
需用費	528		
委託料	1,100		
使用料及び賃借料	3		
事業費計		1,942	

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
総務部総務課	文書管理システム運営費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる
	主要施策	文書管理・電子決裁システムの導入・運用

事業の目的と目標

目的（何のために）	数値目標				
公文書管理及び決裁管理の適正化及び効率化	項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
	電子決裁率（%）	0	80	90	99
目標（何を達成するのか）					
文書管理システム及び電子決裁システムの導入及び普及					

事業概要

公文書の収受、起案、施行、保管、廃棄など一連の管理業務を適正化・効率化する「文書管理システム」の導入及び普及
押印の廃止、ペーパーレス化、決裁の効率化を推進するための「電子決裁システム」の導入及び普及
（令和４年１０月からテスト運用開始、令和５年１月に本格運用開始）

数値目標の目標年度
項目名　電子決裁率（%）：2029(R11)年度

事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
文書管理システム・電子決裁システムについてＲＦＩ（情報提供依頼）を実施。プロポーザルにより令和４年３月に業者決定。	令和４年４月からシステム構築。令和４年１０月頃からテスト運用実施。令和５年１月から本格稼働予定。	職員の意見を踏まえ、文書管理事務の効率化及び電子決裁率向上を目的としたＰＤＣＡを回していく。
達成度		
1　計画目標に向けて順調に推移		

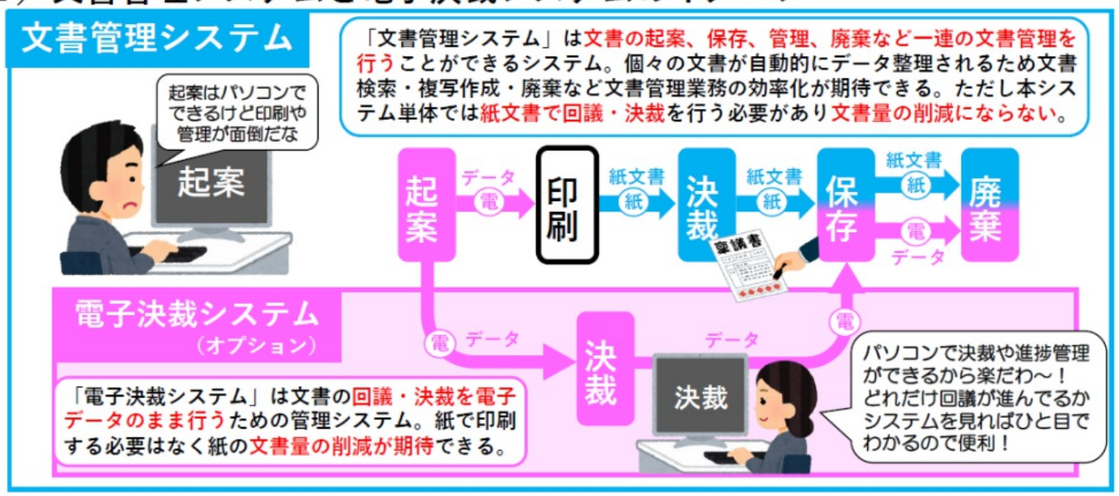
歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費			6,000
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	0	6,000
歳入合計		0	6,000

課題	１不十分な文書管理 大量の文書を、Excelで作成した目録で管理 ２煩雑な現存文書管理 文書の検索、整理整頓、廃棄が煩雑 ３文書保管場所の不足 全体の７割を永年文書が占めており、保存・保管場所の確保及び廃棄に苦慮 ４情報公開方法の遅れ 公開請求の目的文書まで検索することが出来ないため、職員が手作業で検索	方向性	総合的な行政文書管理機能を持つ文書管理・電子決裁システムを導入し、事務処理の効率化・簡素化の推進、市民サービス向上のための庁内情報の円滑な共有と文書管理能力の向上、電子化・ペーパーレス化による紙文書の削減を図る

	時期	実施内容	時期	実施内容
R4スケジュール	4月～9月	システム構築		
	10月～12月	テスト運用		
	1月～3月	本格運用開始		

本事業に関する主要データ

（1）文書管理システムと電子決裁システムのイメージ



共創の状況	委託

R4節別当初予算額内訳（千円）			
節名称	金額	節名称	金額
委託料	6,000		
事業費計		6,000	

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
総務部総務課、文化スポーツ部松江城・史料調査課	松江市文書館（仮称）機能整備事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる
	主要施策	松江文書館（仮称）機能整備事業費

事業の目的と目標

目的（何のために）

「松江市文書館（仮称）整備構想」に基づき、選別した歴史的に重要な公文書と地域に所在する歴史史料（古文書等）を等しく収集・整理・保存し、市民の利用に供することを目的とする。

目標（何を達成するのか）

「松江市文書館（仮称）整備構想」に基づき、文書館の３つの機能（①歴史公文書・地域の歴史史料の調査、収集、整理、保存②調査研究・歴史編纂③史料・情報の公開と提供）を整備する。

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
歴史公文書目録整備（累計）（冊）	2,000	3,000	4,000	6,000

事業概要

①【歴史公文書、地域の歴史史料の調査、収集、整理、保存】
　歴史公文書に関しては、保存期間を満了した文書の評価・選別、文書館での公開に向けた目録の作成、保存の仕組みを整える。地域の歴史史料に関しては市内に残された未調査の文書の調査・整理・保存処置を継続的に行う。そのために、専門的職員（アーキビスト）の育成も実施する。
②【調査研究・歴史編纂】
　歴史公文書や地域の歴史史料に基づく調査・研究を行い、その成果を「松江市歴史叢書」や「松江市歴史史料集」等の刊行物に反映する。
③【史料・情報の公開と提供】
　史料の調査・研究により明らかとなった内容を市民に分かりやすく伝えるため、ホームページやTwitter等での情報発信、Web講座等を実施する。

事業計画

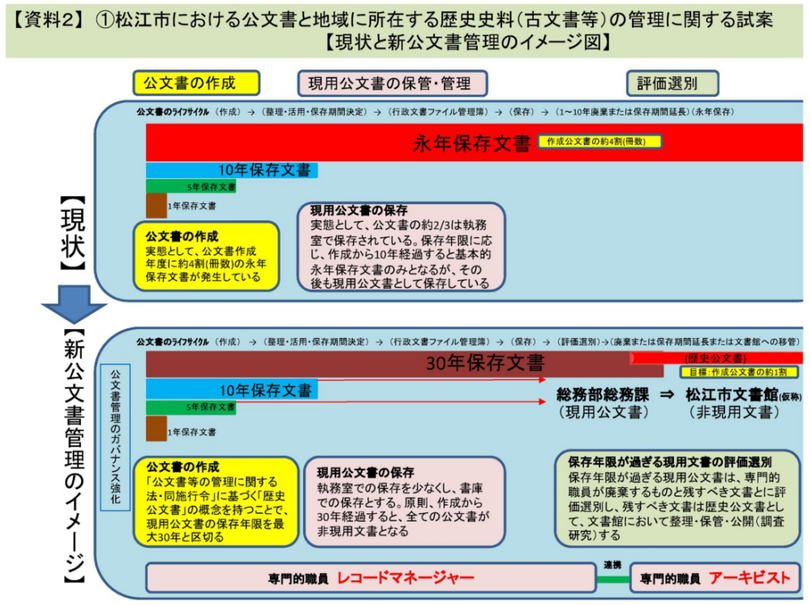
R3実績見込	R4計画	R5計画
・歴史公文書評価選別の試行 ・昭和期以前の歴史公文書の目録整備作業 ・歴史公文書の整理・保存処置 ・専門職（ｱｰｷﾋﾞｽﾄ）の育成	・歴史公文書評価選別 ・昭和期以前の歴史公文書の目録整備作業 ・歴史公文書の整理・保存処置 ・専門職（ｱｰｷﾋﾞｽﾄ）の育成	・歴史公文書評価選別 ・昭和期以前の歴史公文書の目録整備作業 ・歴史公文書の整理・保存処置 ・専門職（ｱｰｷﾋﾞｽﾄ）の育成

達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

時期	実施内容	時期	実施内容
通年	昭和期以前公文書の目録整備・保存措置・整理		
通年	歴史公文書の評価選別		
9～11月	国立公文書館アーカイブズ研修受講		
4～6月	東出雲支所公文書の保存措置		

（R4スケジュール）

本事業に関する主要データ



『松江市文書館（仮称）整備構想』より

歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		3,144	3,435
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	3,144	3,435
歳入合計		3,144	3,435

共創の状況	共催

課題

・永年保存文書が膨大にあり、新庁舎に収まりきらない。
・保存年限を過ぎた歴史的に価値のある公文書を適切に保存・管理・公開する仕組みがない。

方向性

・総務部総務課とともに「松江市文書館（仮称）」の機能整備を進め、作成から保存、廃棄、文書館への移管、歴史公文書の利用までの文書管理全体の仕組みを整える。

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
報酬	1,750		
職員手当等	358		
共済費	345		
報償費	486		
旅費	374		
需用費	122		
事業費計		3,435	

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
政策部秘書広報課	広報活動の充実、シティープロモーションの強化

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり				
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる				
	主要施策	広報活動の充実				

事業の目的と目標

目的（何のために）

情報化、多様化に対応し、市民が必要とする情報を簡単に得られる。

目標（何を達成するのか）

・本市からのお知らせに日常的に触れることができる
・友人・知人に松江のことを知らせたくなる

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
地域ブランド調査認知度ランキング(位)	110	100	90	30
松江のことを発信した人の割合(%)		40	45	80
市の情報がわかりやすいと感じる割合(%)		30	35	60

事業概要

情報化、多様化により、市民は多くの方法で情報を得られる環境になっている。以前は市報や回覧板のような紙などのアナログ媒体での情報発信が主であったが、現在では、紙に加え、ホームページやＳＮＳなどデジタル媒体が増えてきた。SNSもTwitterやInstagram、Facebookなど様々な媒体で情報を得られることができるようになり、情報は手に入れるものではなく、手軽に手に入るものになった。よって、今までと同じ情報発信手法を使っていると市民は「情報が入ってこない」と感じてしまうため、多様な媒体・手法を使って情報発信を行っていく。
SNSでは市民が「いいね」やリツイートをしたくなる情報を発信する。その「いいね」やリツイートを見ることで、本市からの情報を得られる市民を増やす。また、市民が友人・知人に知らせる感覚で、自ら情報発信をすることで、本市からの情報発信以外でも本市の情報を得られることができる環境を醸成する。
やさしい文章を使ったり、イラストや画像・グラフなど視覚的に理解できるよう工夫したり、市民に分かりやすい情報発信を行う。

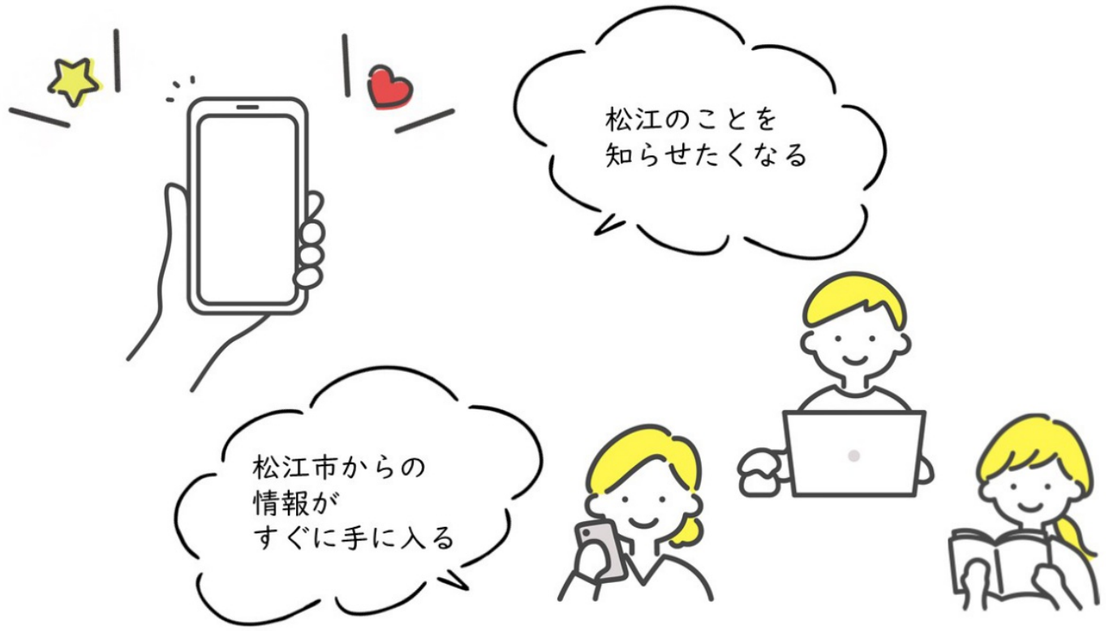
事業計画

R3実績見込	R4計画	R5計画
公式ツイッターでの市政情報発信本格運用開始 facebook・インスタグラム　運用開始 定例記者会見YouTube配信	ホームページのリニューアル 公式SNSの各コンテンツの強化 職員向け研修の実施	公式LINEの運用開始

達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

	時期	実施内容	時期	実施内容
R4スケジュール	7月	HP改定委託業者決定		
	2月	リニューアルホームページの公開		
	3月	職員向け研修の実施		

本事業に関する主要データ



歳入・歳出の推移(単位：千円)		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		9,480	36,602
財源内訳	国・県支出金		
	地方債		
	その他		
	一般財源	9,480	36,602
歳入合計		9,480	36,602

共創の状況	検討中

課題

・SNSの掲載について堅い内容が多く、また媒体ごとの掲載内容の選定ができていない
・市報やホームページなど、回りくどく、難しい表現をしている掲載内容が多い

方向性

・SNSの媒体ごとに発信内容を選定
・やさしい文章で掲載する

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
ホームページ運営管理費委託料	7,760		
ホームページ改修費委託料	28,842		
事業費計		36,602	

令和4年度　総合計画実施計画

所属	事業名
政策部デジタル戦略課	みんなにやさしいデジタル市役所推進事業費

松江市総合計画	基本目標	どだいづくり			
	基本施策	市役所って、ほんと頼りになる			
	主要施策	みんなにやさしいデジタル市役所推進事業			

事業の目的と目標

目的（何のために）

「市民サービスの向上」と「業務の効率化」、およびそれらを支えるための「人材育成」という観点で、先進技術を取り入れながら市役所のデジタル化を推進する。

目標（何を達成するのか）

・策定した「松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画」に基づき、市民サービスの向上や業務の効率化、人材育成の取組を進める。

数値目標

項目（成果指標）	R3実績見込	R4計画	R5計画	目標値
業務のデジタル化件数（件）		24	12	36

事業概要

令和３年度末策定の「松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画」に基づき、「ちょうどいい市役所」をめざして、デジタル技術を用いた市民サービスの向上や業務の効率化等に取り組む。
〈基幹系システム標準化対応〉
・令和7年度末までに、標準仕様書に準拠した基幹系システム（17業務＋追加２業務）を導入するため、業務フローの整理や仕様書に関する情報収集などを行う。
〈松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画の進捗管理〉
・策定した計画に基づき、「市民サービスの向上」「業務の効率化」「人材育成」の3つの柱に紐づいた取り組みの進捗管理を行う。

事業計画

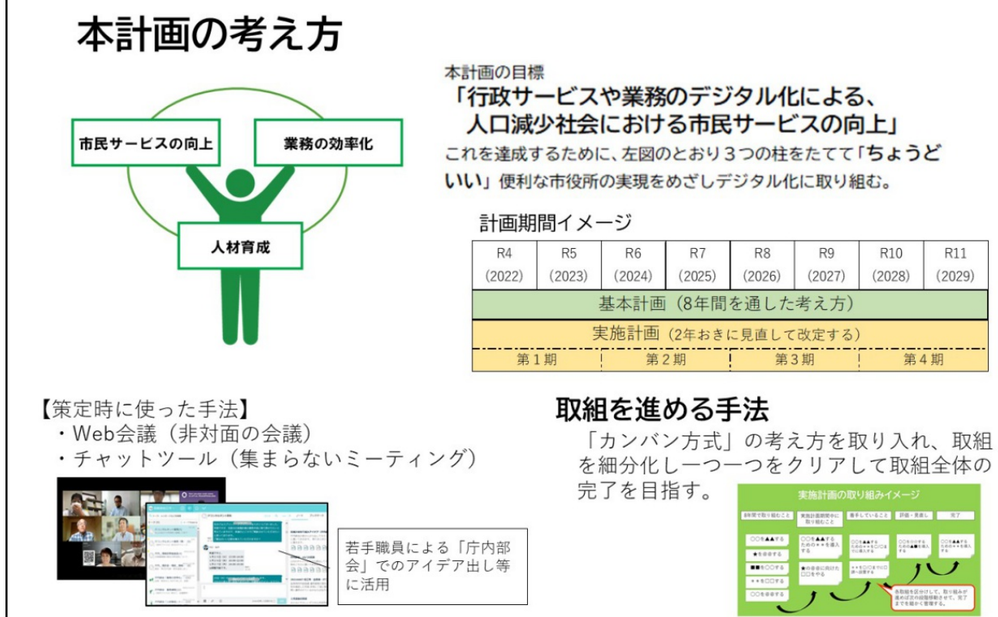
R3実績見込	R4計画	R5計画
ＩＴコンサルタントと連携しながら下記業務を実施。 ・「松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画」を策定。 ・現行行政情報システムの延長契約交渉、契約書（案）等作成。 ・ＩＴガバナンスを構築に向けた準備（情報化企画ガイドライン（案）作成等） ・国の動向等の調査を行う	・「松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画」における目標達成に向けて、各取組の進捗管理を行う。 ・自治体基幹系システムの標準化への対応に向けて、調達スケジュールの調整、標準仕様書の情報収集、事務担当課との業務フロー整理。 ・ITガバナンスの構築（情報化企画ガイドラインや調達・契約ガイドラインの作成、職員への周知、システム台帳整備など）	令和4年度の進捗状況を基に決定する。

達成度	
1	計画目標に向けて順調に推移

時期	実施内容	時期	実施内容
通年	デジタル市役所計画　進捗管理・相談支援		
通年	自治体基幹系システム標準化対応（庁内調整など）		
通年	内閣府・デジタル庁の動向に基づく対応		
4月～7月	ITガバナンス整備（各種ガイドライン整備）		

（R4スケジュール）

本事業に関する主要データ



歳入・歳出の推移（単位：千円）

		R3 決算見込	R4 当初予算
事業費		12,234	11,571
財源内訳	国・県支出金		0
	地方債		
	その他		0
	一般財源	12,234	11,571
歳入合計		12,234	11,571

共創の状況	委託

R4節別当初予算額内訳（千円）

節名称	金額	節名称	金額
報酬	1,750		
職員手当等	358		
共済費	338		
需用費	30		
委託料	8,910		
使用料及び賃借料	185		
事業費計			11,571

課題

〈庁内における課題〉
・今回新たに定めたデジタル化の方針に基づき、多数のデジタル化の取組を同時並行で進める必要がある。
・一部の取組については、新庁舎の整備にも関連することなので、スピード感を持ちつつ慎重に進める必要がある。
〈外部における課題〉
・国は新たに「デジタル田園都市国家構想」を掲げており、各自治体もこの構想に併せて自治体全体のデジタル化を速やかに進めなければならない。
・今後も国から様々な方針が出されることが予想されるため、引き続き動向を注視する必要がある。

方向性

・「松江市みんなにやさしいデジタル市役所計画」に基づき、市民サービスの向上や業務の効率化、人材育成の取組を推進する。
・ITガバナンスの整備を早急に進め、システム調達・管理体制を最適化させる。
・令和7年度末までの自治体基幹系システムの標準化に向けた対応が遅れることのないよう、適切に調整していく。
・内閣府やデジタル庁の動向を注視し、適宜対応していく。